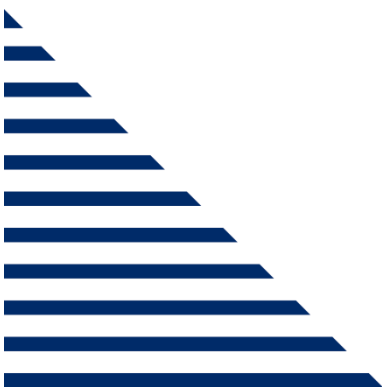




# 長岡京市文化芸術推進ビジョン

令和2年3月  
長岡京市



# 目 次

第1章	ビジョン策定にあたって……………	1
第2章	現状と課題……………	4
第3章	めざすべき将来の姿……………	1 1
第4章	取り組みの方向性……………	1 2
第5章	実現にむけて……………	1 3
第6章	ビジョン推進にあたって……………	1 7
資料編	……………	1 8

# 第1章 ビジョン策定にあたって

## 策定の背景

本市では、昭和 63 年に図書館や中央公民館、京都府長岡京記念文化会館を一体的に整備した「長岡京文化センター」がオープンし、市民が文化芸術活動に取り組む場が確保され、活動人口も増加してきました。また、平成 17 年には JR 長岡京駅前に中央生涯学習センターが完成し、市民の活動や発表の場がより一層充実しました。さらに、平成 23 年に開催された「国民文化祭・京都 2011」では、市民や子どもたちが多彩な文化芸術に身近にふれることで文化力、地域力の向上に大きな成果を上げてきたところです。

一方で、近年人口は横ばいではあるものの、高齢化の進展は顕著であり、本市で培われてきた地域の文化芸術に関わる人材や取り組みを継承するための支援が必要となってきました。また、社会参加のきっかけ作りや健康増進に文化芸術の持つ価値を活用する等、文化芸術を地域の課題解決や市の魅力向上につなげていくことが求められています。

国においては、少子高齢化やグローバル化の進展等、社会状況の著しい変化に対応していくとともに、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会等で日本の文化芸術の価値を世界に発信し、文化芸術の新たな価値を創出すること等を目的に、平成 29 年 6 月に文化芸術振興基本法（平成 13 年法律第 148 号）を文化芸術基本法（平成 29 年法律第 73 号。以下、「基本法」という）に改正しました。また、基本法に基づき施策の推進を図るため、平成 30 年 3 月に「文化芸術推進基本計画」を策定しました。

京都府においても、基本法および国の文化芸術推進基本計画を参酌し、平成 31 年 3 月に「京都府文化力による未来づくり基本計画」を策定しました。

本市においても、国や京都府の方針を参酌するとともに、これまで積み重ねられてきた本市の誇りとなるような文化芸術を継承、発展させていくことが求められています。

## 策定の意義

文化芸術は、人々の創造性や表現力を高め、人々の心のつながりをはぐくみ、相互に理解し尊重し合う土壌であり、多様性を受け入れる心豊かな社会を形成するものです。

本ビジョンでは、このまちの文化芸術を継承、発展させることや、様々な分野と連携することで文化芸術が持つ価値を最大限に活用していくこと等の方向性を示しています。

本ビジョンを推進することにより、良質な住み心地で魅力あるまちづくりに寄与します。



## ビジョンの位置づけ

本ビジョンは文化芸術基本法第7条の2に規定する「地方文化芸術推進基本計画」として位置づけるもので、長岡京市の文化芸術推進施策の中期的指針として令和2年～令和6年度までの5年間の目指すべき方向性を定めます。

また、長岡京市総合計画や、長岡京市教育振興基本計画を上位計画とし、新・長岡京市観光戦略プランや長岡京市障がい者（児）福祉基本計画等の関連計画と連携を図り推進していきます。

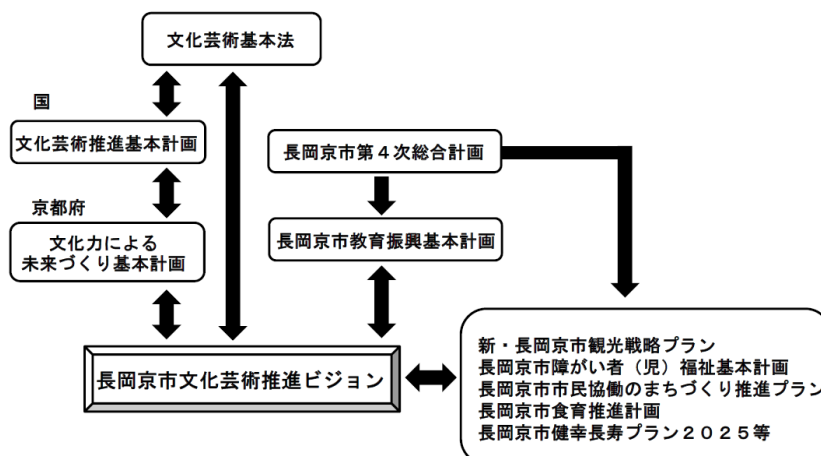
本ビジョン策定にあたっては、令和元年7月に市内の文化芸術活動団体・個人および市内公立小中学校の全校児童・生徒全員の保護者に対してアンケートを行い、文化芸術活動に関する現状やニーズを調査しました。また、市役所内の関係部署の職員で構成されたワーキンググループや、市民公募委員や文化芸術団体の関係者等で構成される懇話会において内容の研究・検討を行いました。（注1）

（注1）ワーキンググループは事務局を文化・スポーツ振興室とし、学校教育課、生涯学習課、障がい福祉課、商工観光課、中央公民館、自治振興室の各職員により構成。懇話会の設置要綱・構成メンバーについてはP44、P45を参照。

### 【計画の推進期間】

年度	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	
国			文化芸術推進基本計画（第1期）								
京都府				京都府文化力による未来づくり基本計画							
長岡京市					長岡京市文化芸術推進ビジョン						
長岡京市 第4次総合計画	第1期基本計画				第2期基本計画						

### 【上位計画等との関係】





## ビジョンの対象となる文化芸術の範囲

本計画での文化芸術とは、文化芸術基本法に例示される次表の範囲を対象とします。なお、文化財については今後、「長岡京市文化財保存活用地域計画」において定める予定のため対象外とします。

「文化芸術基本法」における文化芸術の範囲（第8条～14条）

芸術	文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術（メディア芸術を除く）
メディア芸術	映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術
伝統芸能	雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊その他の我が国古来の伝統的な芸能
芸能	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能（伝統芸能を除く）
生活文化	茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化
国民娯楽	囲碁、将棋その他の国民的娯楽
出版物等	出版物及びレコード等
文化財等	有形及び無形の文化財並びにその保存技術 ※対象外
地域における文化芸術	各地域における文化芸術の公演、展示、芸術祭等 地域固有の伝統芸能及び民族芸能に関する活動

## 第2章 現状と課題

### 本市の現状

本市ではこれまで、長岡京市文化協会や長岡京市公民館サークル連絡協議会の加盟団体・個人をはじめ、多くの市民による文化芸術活動が展開されてきました。平成23年度に開催された「国民文化祭・京都2011」では、京都府長岡京記念文化会館において、「オーケストラの祭典 in 長岡京」と「クラシックバレエの饗宴」を実施し、国民文化祭終了後もバレエの公演や、国文祭記念の名を冠したオーケストラや吹奏楽のコンサートが多数開催される等、国民文化祭の成果が地域に根づいています。

また、吹奏楽が盛んな地域としても知られ、毎年夏に開催される京都府吹奏楽コンクールでは、金賞を獲得し関西大会へ出場する京都府代表校を7年連続で輩出しています。年間を通じて各校吹奏楽部や一般の吹奏楽団の発表が市内各地で行われ、「長岡京市＝吹奏楽のまち」というイメージが定着してきています。

さらに、1997年に旗揚げされた世界的ヴァイオリニスト森悠子氏率いる「長岡京室内アンサンブル」の拠点のまちとしても知られており、京都府長岡京記念文化会館を拠点として、プロ・アマチュアを問わず、多くの芸術家や文化芸術団体が交流しています。



国文祭記念 長岡京駅前広場コンサート



提供：長岡京室内アンサンブル

長岡京室内アンサンブル

## 市立社会教育施設・文化施設等の現状

市内には京都府長岡京記念文化会館のほか、中央公民館、中央生涯学習センター等、設備の充実した施設があり、それらの施設はJR、阪急電鉄の2駅からのアクセスも良く、日頃の活動拠点としてはもちろん、発表の場としても活用されています。



### 平成 30 年度の主な市立社会教育施設・文化施設等の利用状況 (注1)

#### 長岡京市立中央公民館

1、2 階は社会教育ホール、3 階は最大 400 名収容の市民ホールとなっています。

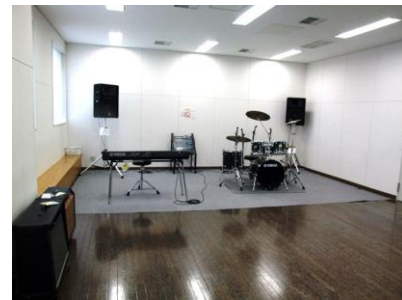
市民ホール	稼働率	43.6%
社会教育ホール平均 (注3)	(注2)	55.9%



## 長岡京市立中央生涯学習センター

長岡京市立総合交流センターの2階～4階および6階部分に最大400名収容のメインホールをはじめ、ギャラリーや活動スペースがあります。また、市民の生涯学習を応援・サポートする拠点として「生涯学習団体交流室」を設置しています。

メインホール	稼働率	53.4%
特別展示室		50.9%
市民ギャラリー1		37.6%
市民ギャラリー2		35.9%
その他施設平均 (注3)		52.0%



## 長岡京市立産業文化会館

1階に最大300名収容の大会議室をはじめ、2、3階には活動スペースがあります。

大会議室	稼働率	63.3%
その他施設平均 (注3)		49.8%



## 長岡京市立多世代交流ふれあいセンター

1階に最大220名収容の交流室をはじめ、活動スペースがあります。

交流室	稼働率	41.5%
その他施設平均 (注3)		8.9%



## 長岡京市立神足ふれあい町家

国登録有形文化財である町家を、地域コミュニティの振興と市民の教育文化向上のために開放しています。観光情報の提供、物産の展示販売や各種イベント開催のほか、活動スペースとして、和室の貸出を行っています。

和室	稼働率	45.1%
----	-----	-------



市民ホールやメインホール、特別展示室等の舞台・展示施設は、主に発表に利用されることが多いため、週末の利用が多くなっています。一方、社会教育ホール等、普段の練習や創作活動の場として利用する施設は、平日の昼間に多くの方に利用されています。





## 京都府長岡京記念文化会館の現状

(公財) 京都府長岡京記念文化事業団が運営する京都府の施設で、ホールは約 1,000 名を収容することができます。附属施設として練習室や楽屋が設置されています。



京都府三文化会館および京都府南部地域公立文化会館使用状況

会館名	ホール状況	使用状況 (注4)		
	座席数 (車椅子席を含む)	平成28年度 使用率 (%)	平成29年度 使用率 (%)	平成30年度 使用率 (%)
京都府長岡京記念文化会館	1,004	63.5	62.0	65.7
京都府丹後文化会館	858	49.0	51.0	51.0
京都府中丹文化会館	1,000	70.7	75.3	68.7
八幡市文化センター	1,220	49.0	56.0	56.0
文化パーク城陽	1,305	58.6	53.4	56.8
宇治市文化会館	1,308	47.0	44.0	42.0
京都コンサートホール	1,833	60.0	66.4	69.4

※出典 平成30年度京都府長岡京記念文化事業団事業報告書より

練習室平均 (注3)	稼働率	54.1%
------------	-----	-------

京都府長岡京記念文化会館は、音響の良さに定評があることに加え、音楽や演劇等、多目的に使用できることや、京都と大阪の中間地点という立地の良さから、京都市内や大阪等の団体からも多く利用されています。また「長岡京室内アンサンブル」が拠点ホールとしており、市民にとっても文化芸術鑑賞の場、発表の場として重要な役割を担っています。

(注1) 稼働率・使用率には自主事業等の利用分も含みます。

(注2) 稼働率は午前・午後・夜間の区分貸し施設においては、使用区分数÷使用可能区分数×100で、1時間単位の時間貸し施設においては、使用時間÷使用可能時間×100で算出しています。

(注3) 各貸室の稼働率を積算し、その数値を貸室数で割ることで算出しています。

(注4) 使用率は使用日数÷使用可能日数×100で算出しています。

## 文化芸術活動団体の現状

本市には、長岡京市文化協会や長岡京市公民館サークル連絡協議会といった文化芸術活動を行う人たちのプラットフォーム的な役割を担う団体があります。それらの加盟団体・個人をはじめ、それらに属さない人たちも含めて市内では文化芸術活動が盛んに行われています。ジャンルも美術、工芸、音楽、舞踊等、多岐にわたっています。活動をする人の中には近隣市町から来られる方もあり、その背景には本市の人材の豊かさとともに、文化施設が充実していることも影響していると考えられます。

## 子どもたちの文化芸術活動の現状

市内公立小中学校の全校児童・生徒全員の保護者に対して行ったアンケート結果によると、習い事や部活動で文化芸術活動をしている子どもは 45.9%となっています。中学3年生になると、ほかの学年と比べて大きく割合が減っていることから、部活動を引退したり受験生になり習い事をやめることが影響していると考えられます。

市内の中学校、高等学校には美術部や写真部、書道部、吹奏楽部等、文化系の部活動が多数あり、子どもたちが文化芸術活動を始めるきっかけの一つになっています。それらの部活動の多くは地域のイベントに出展、出演する等、学校内だけでなく地域との交流を持ちながら広く活動を行っています。

## 本市の文化芸術施策の現状

「長岡京市全体を巨大な劇場に」というキャッチフレーズのもと、市内各地で文化芸術活動や発表が盛んに行われるよう、自主活動団体の育成・支援を行っています。また、文化活動で優れた業績を残された人や団体、コンクールやコンテストで顕著な成績を収めた子どもたちの功績を顕彰する「長岡京市文化賞」という制度を設けています。

市民の文化芸術鑑賞・発表の拠点である京都府長岡京記念文化会館の運営支援を行うとともに、会館主催事業が充実するよう支援しています。





## 文化施設等の課題

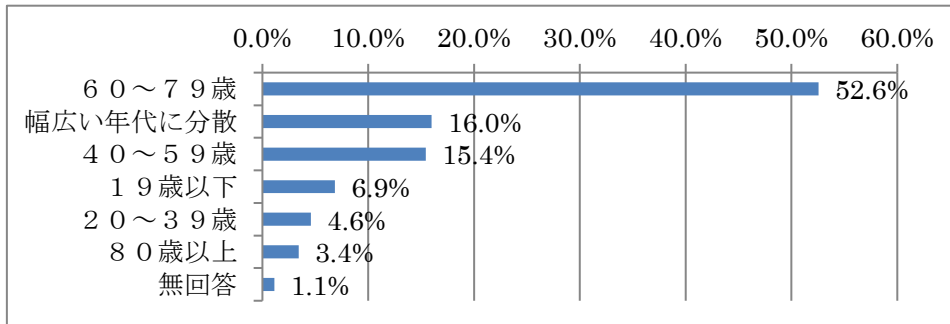
本市には多くの文化芸術活動の拠点となる施設がありますが、中央公民館や京都府長岡京記念文化会館等は築30年以上経過し、施設や付帯設備の老朽化等への対応が必要となってきました。



## 文化芸術活動団体の課題

文化芸術活動団体・個人にアンケートを行い、「主なメンバーの年代」について尋ねると、56.0%が60歳以上と回答しました。また、「抱える課題」と「主なメンバーの年代」をクロス集計したところ、60歳以上の59.2%および幅広い世代に分散の35.7%が「メンバーの高齢化」を挙げており、それぞれの年代でもっとも多い回答でした。一方、60歳以下では「無回答」(25.5%)がもっとも多く、「特に課題はない」(14.9%)も上位に挙がっており、ある程度安定した活動が行えていると考えられます。ただし、「メンバーの減少」については全ての年代において上位に挙がっており、その背景には共働き世帯の増加や、インターネット通信の普及による余暇活動や生活行動の変化等が考えられます。文化芸術活動人口の増加のためには、それらの変化にも対応した支援が必要とされています。

【主なメンバーの年代】(N=175)



【「抱える課題（複数回答可）」と「主なメンバーの年代」のクロス集計】(N=173)

※各年代の上位3つの欄に色付け ※年代を60歳以下、60歳以上、幅広い世代に分散の3つに集約（年代無回答の2件を除く）

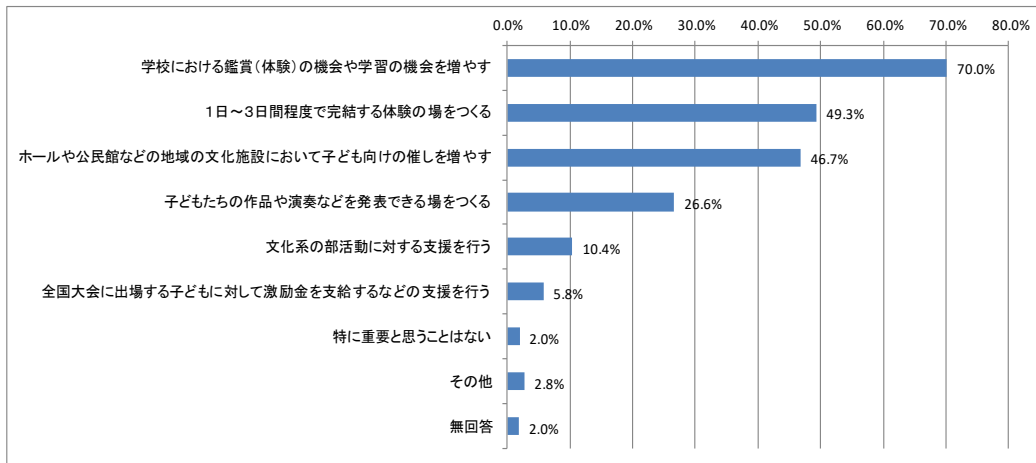
	メンバーの高齢化	メンバーの減少	メンバーを募集しても集まらない	活動場所の確保	情報発信（PR）の手段が少ない	活動経費の負担が大きい	指導者の確保	技量・レベルの向上	発表の機会が少ない	他団体と交流する機会が少ない	特に課題はない	その他	無回答
60歳以下(N=47)	12.8%	21.3%	12.8%	8.5%	10.6%	10.6%	6.4%	10.6%	4.3%	6.4%	14.9%	2.1%	25.5%
60歳以上(N=98)	59.2%	39.8%	21.4%	10.2%	10.2%	5.1%	7.1%	6.1%	3.1%	4.1%	7.1%	2.0%	18.4%
幅広い世代に分散(N=28)	35.7%	21.4%	14.3%	25.0%	3.6%	17.9%	10.7%	0.0%	7.1%	0.0%	14.3%	7.1%	10.7%



## 子どもたちの文化芸術活動の課題

市内公立小中学校の全校児童・生徒全員の保護者に対して行ったアンケートで、子どもが文化芸術活動を行っていない理由として、「スポーツ等ほかの活動をしている」(50.9%)以外でもっとも回答が多かったのは、「子どもがやりたがらないから」(28.3%)で、次に多いのが「始めるきっかけがないから」(19.4%)でした。子どもに対して、文化芸術の魅力や楽しさが伝わっていないことや、きっかけとなる体験の機会が少ないことが考えられます。また、子どもたちに対する重要な取り組みとして、保護者の70.0%が「学校における鑑賞(体験)の機会や学習の機会を増やす」と回答しており、家庭の状況にかかわらず、地域で生活していく中で自然と文化芸術にふれられる環境が求められています。

【次世代を担う子どもたちの文化芸術鑑賞や文化芸術活動を充実させるために、特に重要だと思う取り組み(最大3つまで回答可)】(N=1,935)



## 本市の文化芸術施策の課題

文化芸術基本法では文化芸術と、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の幅広い分野との連携を図ること等が定められました。文化芸術の持つ価値を最大限に活用して、上述してきた課題をはじめ、地域の課題解決や市の魅力向上につなげていくためには、これまで以上に市役所内の関係部署と連携を強化し、人材や、イベント運営等のノウハウ、情報、地域資源を共有することが求められます。また、市役所内だけでなく、民間団体・民間事業者等との協働体制を構築することも重要です。

## 第3章 めざすべき将来の姿

長岡京市では、第4次総合計画において「住みたい、住みつけたい、悠久の都 長岡京」を基本構想のキャッチフレーズに、

うるおいに満ちた、“良質の住み心地”をつくる  
まちの魅力を高め、“多彩なにぎわい”をつくる  
人・地域の絆に根ざした、“ゆるぎない安心”をつくる

を政策の大綱としています。

文化芸術はまさに、様々な表現を通して交流を生み出し、多彩なにぎわいをつくります。また、人々の心のつながりや相互理解を深めることで、多様性を受け入れる安心な社会を形成し、それらは「良質の住み心地」へとつながると考えています。

本市では、“いつでも”、“どこでも”、“だれでも”文化芸術に取り組み、ふれることができる場をつくっていくことで、「住みたい、住みつけたい」と感じてもらえる魅力あるまちをめざし、以下のとおり「めざすべき将来の姿」として3つの基本方針を設定します。

### 文化芸術と暮らす

年齢、性別、障がいの有無、  
経済的な状況や社会的立場等に関わらず、誰もが文化芸術鑑賞・活動に取り組むことができ、生きがいを感じながら心豊かに過ごせるまち

### 文化芸術と育つ

子どもの頃から文化芸術に身近にふれ、活動できる環境が整備され、豊かな心や社会性が育めるまち

### 文化芸術で集う

「長岡京市全体を巨大な劇場に」のキャッチフレーズを体現するよう、市内各地で文化芸術活動や発表・鑑賞が盛んにおこなわれている魅力あふれるまち

## 第4章 取り組みの方向性

本市の現状や課題を踏まえ、「めざすべき将来の姿」を実現するため、計画期間中の取り組みの方向性を以下のとおり4つの柱に決めました。

### 1 創る・演じるを「ささえる」

- ・これからも本市の文化芸術活動を行う人が維持・増加していくために、年齢、性別、障がいの有無や社会的立場等に関わらず、文化芸術活動に参加するきっかけづくりを進めます。
- ・これまで行われてきた活動が継続され、さらに発展していくよう文化芸術活動の成果を発表する場や人材を育成・提供していきます。

### 2 次世代の文化芸術の担い手を「そだてる」

- ・心豊かに成長し、日本や地域の文化芸術を担う子どもを育てていくため、様々な場所で文化芸術にふれ、活動することができる機会を提供していきます。

### 3 文化芸術に「ふれる」

- ・年齢、性別、障がいの有無や社会的立場等に関わらず、誰もが身近に文化芸術にふれることができるよう市内の文化施設等を活用し、文化芸術公演の提供をしていきます。
- ・文化芸術活動の場や鑑賞の場となる施設の適切な維持・管理を行います。

### 4 様々な分野・事業と文化芸術が「つながる」

- ・まちの“多彩なにぎわい”を創り、魅力を高めていけるよう様々な分野・事業と連携していきます。

## 第5章 実現にむけて

### 1. 創る・演じるを「ささえる」

#### ▶文化芸術活動の「きっかけ」の提供

- ・特定の対象、目的に絞る等、個人の興味・関心に応じた、初心者向け等の講座を開催します
- ・各種講座等の情報を多くの市民に周知できるよう、合理的配慮の視点を取り入れた情報提供の仕組みを整備します



#### ▶活動の支援

- ・多くの市民が参加し、鑑賞できる公演や発表に対し、支援を行います
- ・「長岡京市全体を巨大な劇場に」を体現できるよう、発表活動の場を確保していきます
- ・長年地域文化活動をされてきた方や顕著な功績を残された個人や団体を顕彰します



#### ▶使いやすい施設であるための維持・管理

- ・練習や発表の場が誰もが使いやすい状態となるよう施設の維持・管理を行います



## 2. 次世代の文化芸術の担い手を「そだてる」

### ▶鑑賞・体験の機会を充実

- ・子どもたちが身近にプロの文化芸術にふれられるよう学校への出張授業の実施を推進します
- ・未就学児も含め、子どもも観覧できるコンサート等の整備を進めます



### ▶文化芸術活動の支援

- ・コンクールやコンテスト等で優秀な成績を収めた子どもたちに文化奨励賞を贈り顕彰します
- ・文化芸術活動に取り組む子どもたちが活躍できるような発表の場や活動しやすい環境づくりに努めます



### ▶「吹奏楽のまち」の継承

- ・活動意欲や技術の向上のため、プロの吹奏楽団との交流の機会をつくります
- ・一般団体および学生の吹奏楽団が発表する場を確保し、活躍を支援します
- ・シティプロモーションの一環として、「吹奏楽のまち」の情報発信に努めます







### 3. 文化芸術に「ふれる」

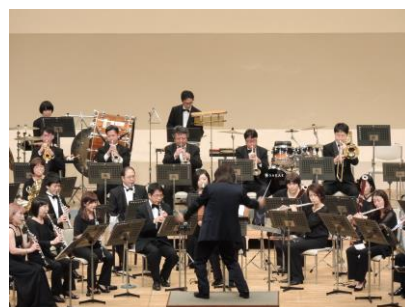
#### ▶身近な場所でのふれる機会の提供

- ・JR 地下道や中央公民館をはじめ、日常的に文化芸術にふれる場を確保します
- ・バンビオ広場公園等、まちなかで気軽に文化芸術にふれる場を確保します



#### ▶質の高い文化芸術公演の実施

- ・京都府長岡京記念文化会館を拠点とし、質の高い文化芸術にふれる事業を実施します
- ・年齢、性別、障がいの有無や社会的立場等に関わらず、鑑賞しやすい環境をつくれます



#### ▶公演や展示場所の維持・管理・更新

- ・多彩な公演や展示ができる施設を今後も維持・管理していくとともに、老朽化した施設等については更新し、安定した環境を提供していきます





## 4. 様々な分野・事業と文化芸術が「つながる」

### ▶文化芸術と様々な分野を融合

- ・観光やまちづくり等、様々な分野と文化芸術が融合することにより、まちに彩りをつくります
- ・健康増進や地域交流に文化芸術を活用する等、文化芸術活動による価値や効果を新たな視点で活用していきます



### ▶部署間連携を強化

- ・市の事業においては、部署間で人材やアイデアを連携させ、イベント等を充実させていきます



### ▶長岡京市全体を巨大な劇場に

- ・長岡京市全体を巨大な劇場と捉え、ホールや展示施設だけでなく、市内のあらゆる場所で市民が主体となった発表活動が行われるよう取り組んでいきます
- ・「長岡京芸術劇場」の趣旨に賛同する団体等が行うイベントには共通するロゴマークを使用してもらい、PR等を行ってもらうよう働きかけていきます



## 第6章 ビジョン推進にあたって

### 市の責務と協働による取り組み

本ビジョンの推進にあたって、市は、積極的に文化芸術施策を推進する役割を担っていきます。そのためには市民や各種団体等の自主的・自発的な活動が必要不可欠です。市民、文化芸術団体、アーティスト、学校、企業、自治会、市の関係機関等が協働して文化芸術活動に取り組むことを目指します。

### (公財) 京都府長岡京記念文化事業団との連携

(公財) 京都府長岡京記念文化事業団は、芸術・文化の創造活動を奨励・振興・育成し、すぐれた芸術・文化の公開を行うとともに、乙訓地域の豊かな文化の振興及び普及に寄与することを目的としている外郭団体です。

長岡京市の文化行政を補完する役割も担っており、本市の文化芸術施策を推進していくパートナーです。本ビジョンにおいても市と(公財) 京都府長岡京記念文化事業団が連携を図りながら、「めざすべき将来の姿」を実現するための取り組みを行っていきます。

また、京都府長岡京記念文化会館が「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」で定められている地域の文化拠点としての役割を全うできるよう、施設の設置者である京都府とも連携し、時代の変化に合わせて施設管理や経営、企画等の改善に取り組み、活用を図っていきます。

### 評価・点検・報告

本ビジョンの推進にあたっては、長岡京市第4次総合計画の実施計画と連動し事業を実施するとともに、評価・点検・報告を行っていくこととします。



# 資料編

## 文化芸術活動に関するアンケート調査結果（抜粋）

（１）調査目的

本調査は市内で文化芸術活動を行う団体や個人の活動実態や課題、ニーズ等を把握するために実施した。

（２）調査対象

長岡京市内で文化芸術活動をする団体・個人

（３）調査方法

長岡京市立中央公民館、長岡京市中央生涯学習センター、学校特別教室等開放事業、長岡京市文化協会の各窓口で利用者にアンケート用紙を配布し、窓口もしくは館内に設置した回収箱にて回収

（４）配布期間

令和元年 7 月 2 日（火）～7 月 31 日（水）

（５）回収数

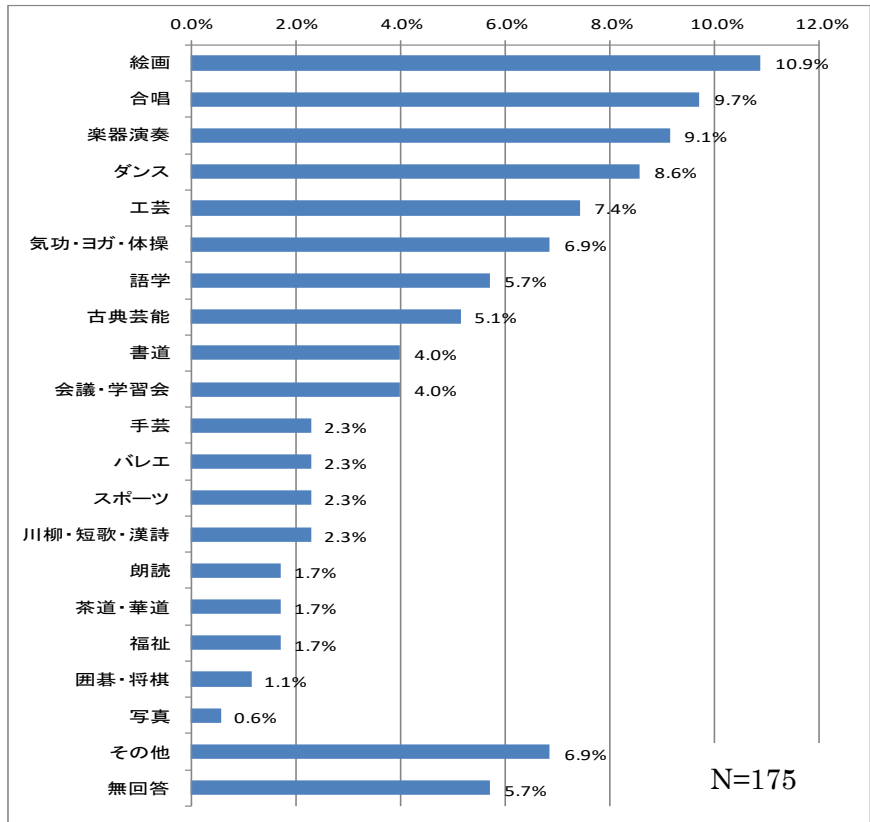
175 件

※注 今回のアンケート調査は、一部の公共施設等で実施したため、数値に偏りがみられる部分がありました。そのため、該当部分の調査結果については使用せず、抜粋して掲載しています。

あなたの団体（個人）の活動状況についてお答えください。

活動分野について（自由記述で記載のあった活動を下記の項目に振り分け）

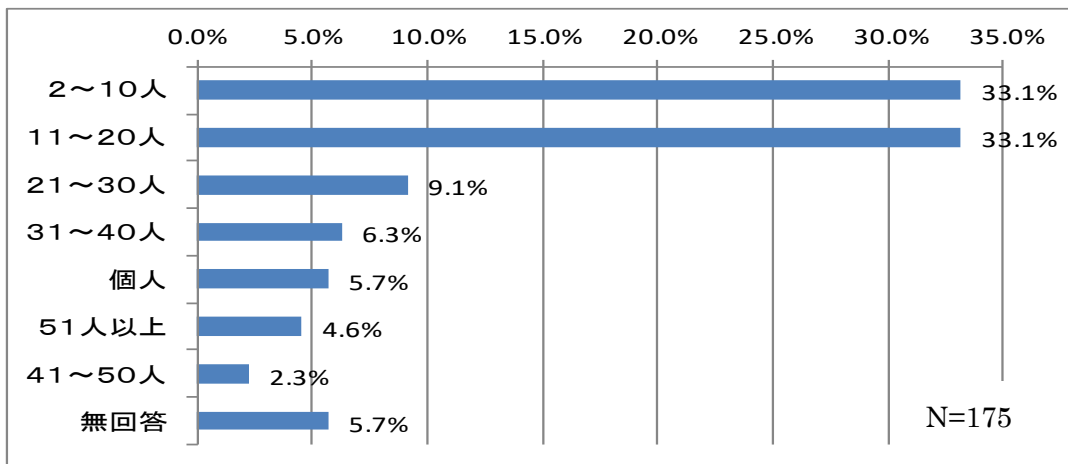
内容	回答数
絵画	19
合唱	17
楽器演奏	16
ダンス	15
工芸	13
気功・ヨガ・体操	12
語学	10
古典芸能	9
書道	7
会議・学習会	7
手芸	4
バレエ	4
スポーツ	4
川柳・短歌・漢詩	4
朗読	3
茶道・華道	3
福祉	3
囲碁・将棋	2
写真	1
その他	12
無回答	10
合計	175



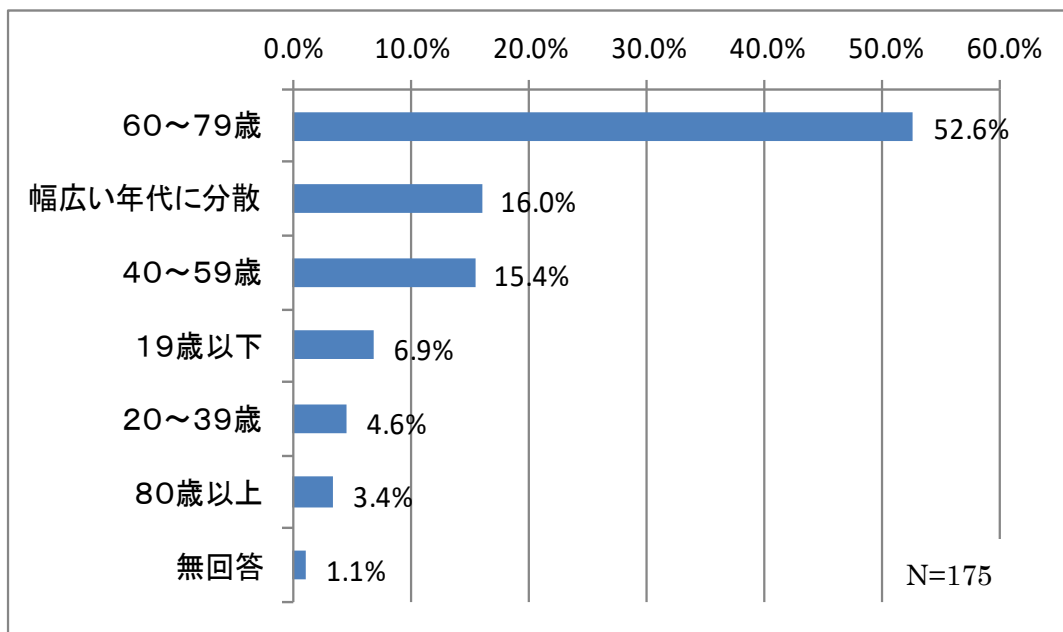
その他詳細 その他に分類した12件のうち主な回答を抽出。

内容	回答数	内容	回答数
けん玉	1	調理実習	1
パソコン	1	芸能活動（大道芸）	1

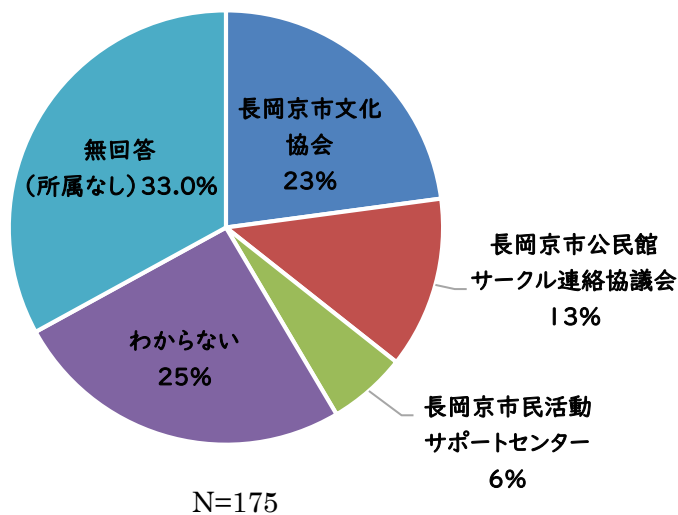
メンバー数について（自由記述で記載のあった人数を下記の項目に振り分け）



あなたの団体に所属するメンバーの主な年代について最も近いものを1つお答えください。  
個人の方はご自身の年齢を選択してください。

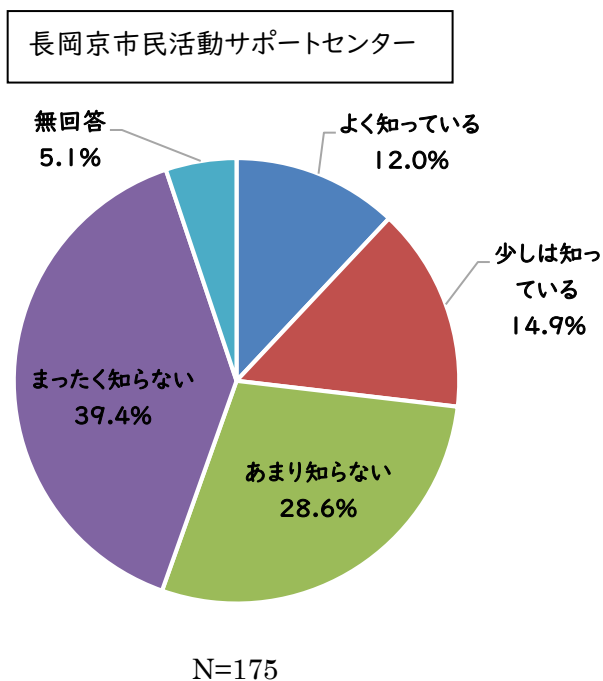
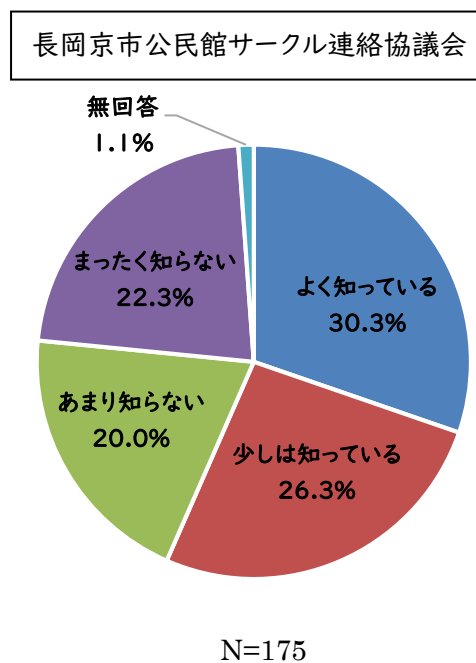
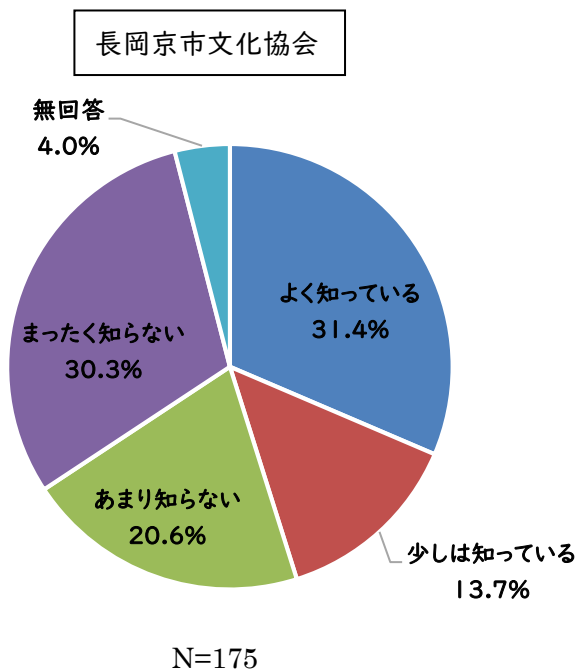


あなたの団体（個人）は次に挙げる組織・団体に入会・登録していますか。（複数回答可）



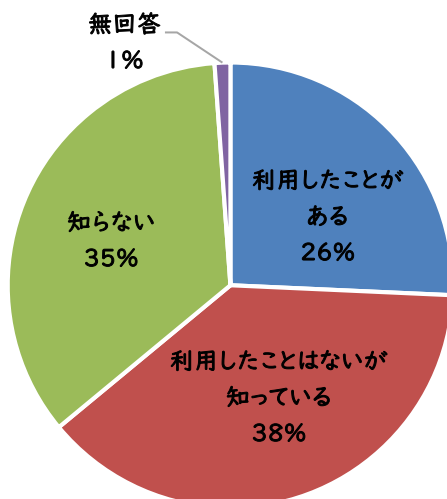
次に挙げる組織・団体を知っていますか。下記の4段階評価のうち、最もあてはまる箇所に○を記入してください。

【1. よく知っている 2. 少しは知っている 3. あまり知らない 4. まったく知らない】



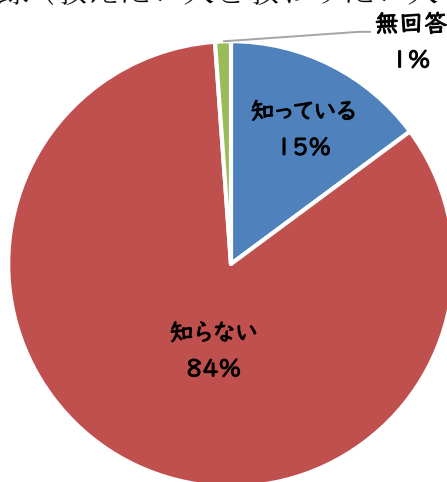


バンビオ1番館6階にある生涯学習団体交流室を知っていますか。



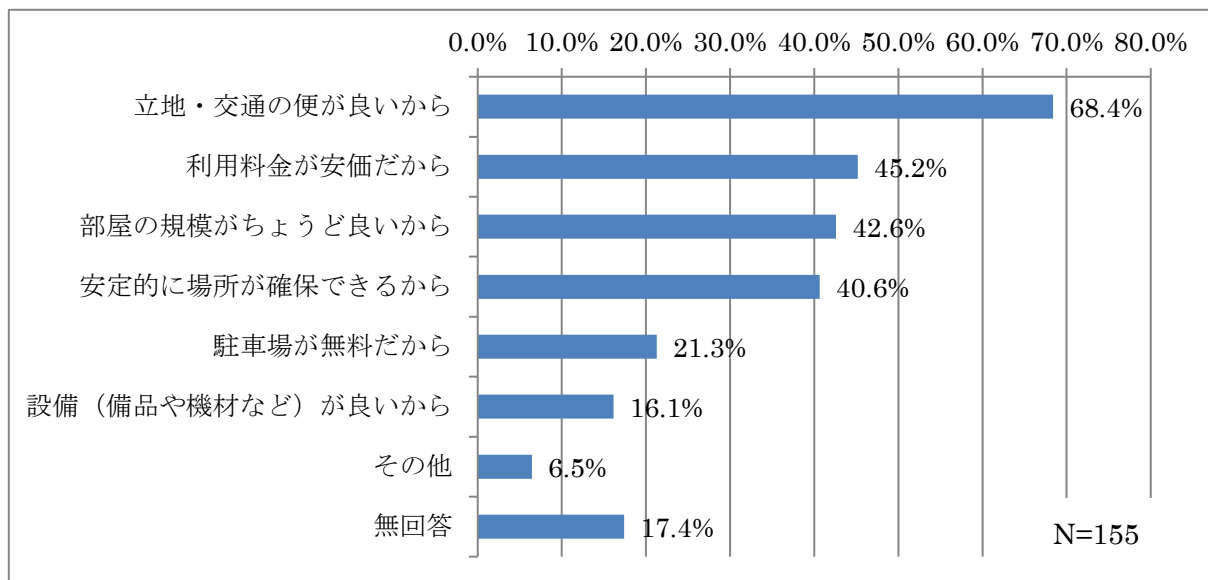
N=175

生涯学習ボランティア人材登録（教えたい人と教わりたい人を繋ぐ人材バンク）について知っていますか。



N=175

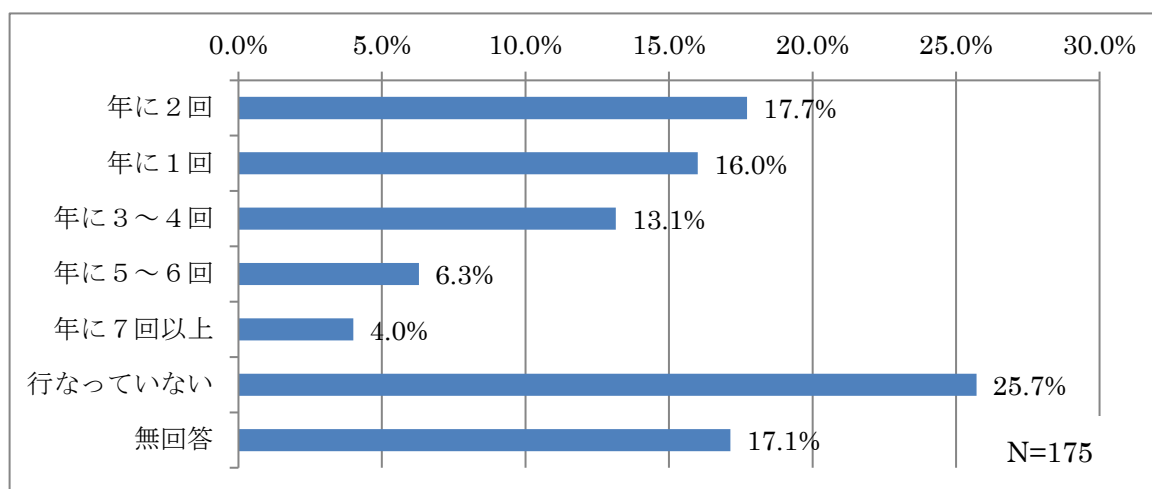
日頃の練習・創作活動を行っている場所を選んだ理由をお答えください（複数回答可）



その他の自由記述の主な内容 その他を選択した10件のうち8件が回答。主な回答を抽出。

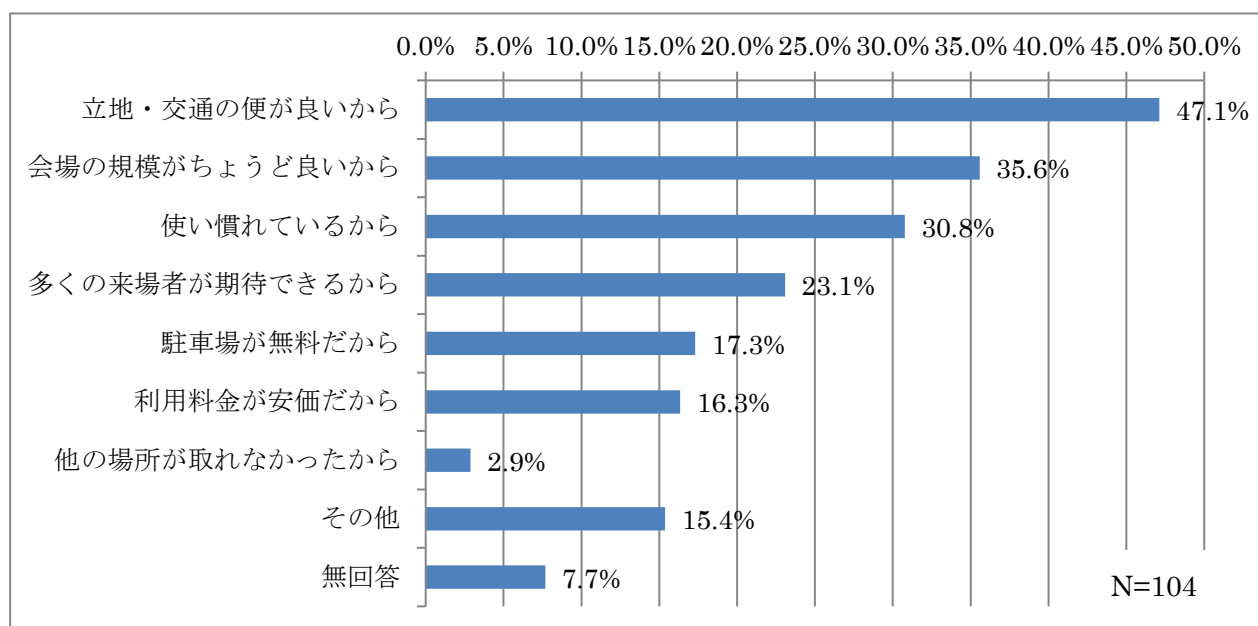
内容	回答数	内容	回答数
床がダンスに適している	1	事務局があるから	1
他を利用する必要がない	1	所属団体の運営による	1

団体（個人）として発表会や演奏会、展示会などをどのくらいの頻度で行なっていますか。最も近いものを1つお答えください。「市民文化まつり」や「公サ連まつり」などのように、ご自身が主催者ではないイベントへの出品・出演も含みます。



発表会や演奏会、展示会などを行う場所を選んだ理由をお答えください。（複数回答可）

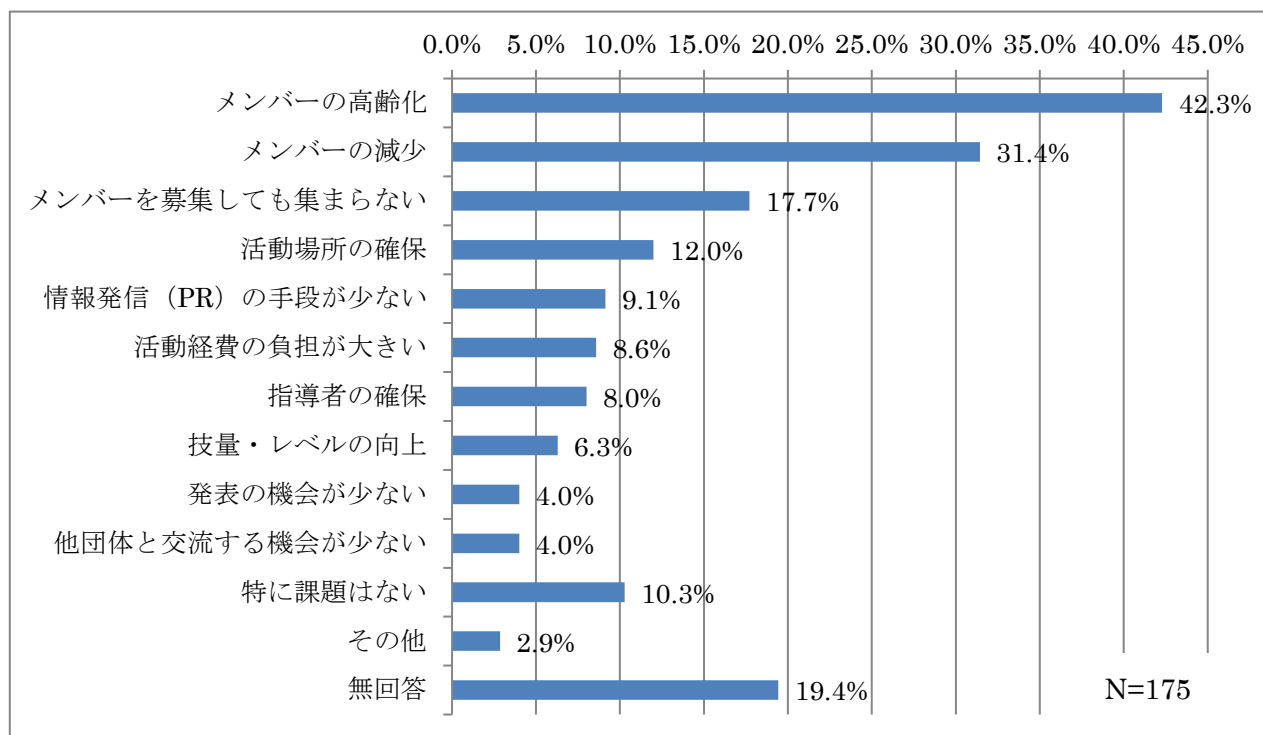
※前問で発表会などを「行なっていない」と回答した45件及び「無回答」と回答し、本問でも「無回答」と回答した26件は除く。



その他の自由記述の主な内容 その他を選択した16件のうち13件が回答。主な回答を抽出。

内容	回答数	内容	回答数
主催者が決めたから	4	音響がよいから	1
依頼された場所だったから	3	他のサークルと共同開催のため	1

文化芸術活動を行う上で、課題と感ずることをお答えください。(複数回答可)



その他の自由記述の主な内容 その他を選択した5件のうち4件が回答。

内容	回答数	内容	回答数
ちょうどよい大きさのホールがない	1	時間の確保	1
活動していない	1	15年間の仲間	1

市民の文化芸術活動（創る・演じる・観るなど）がより活発に行われるためにどのような方策が必要と思われますか。ご意見ご要望をご記入ください。（抜粋）原文ママ

発表する会場が希望する日でなかなかとれないので、予算等を考えると毎年大変です。
施設の確保がスムーズに常時とれるようにしたいものです。
誰でもが文化活動に参加できるように費用負担が少なくなるようにすべき。 市内に在住・在勤などの枠を取り払い多くの人に参加してもらうべき。
もっと若い人の作品をみたい。
市の施設を使用する場合、市立駐車場使用料の補助（割引等）。
発表の場がまだまだ少ない。市のイベントなどで花を飾る場など、増やされると活動の場が広がる。会場費の負担減も。
10月から値上げすると聞いています。料金が安い方がしやすいと思います。よろしくお願いします。
活動場所がとりやすく簡単にとれたら良いと思います。
申込み方法の簡略化。
演じる者、観る者両方が楽しめるような舞台作り、それにもないお祭りのように出来れば良いのではと思う。
多くの人々に知って頂くように広報宣伝が必要。文化活動の発表、展示等があった時は新聞等に写真を載せる。
沢山の方々に気軽に体験をしていただいて入会して楽しんで健康に役立てていただきたいです。
遠征時にバスを手配してほしい。
月1回の活動場所がきちんと確保され、好きな作品を持ち寄り和やかに交流（活動）できているので満足しています。
発表会の記念文化会館の出演料金が少し高額なのでもう少し負担が減ればうれしいです。
公的な所で低料金でレッスン場所が定期的に確保できると良いですが、現状ではなかなか…。
観たり聞いたりする機会がふえて、また足を運ぶ。ミリョクある舞台が増えると良いと思います。
広報をもう少し拡げる必要性があるのでは？

長岡京市は文化芸術活動も熱心に取り組んで頂いていると思いますが子供が少ないからか若年層の方々にもっと参加して頂ける様に何か対策をした方が良いと思われます。「塾に行かなくても大丈夫」というくらい公教育の充実（放課後教室、学校の先生とは別にボランティアとかシニアの方々）を計って頂けると文武両道の素晴らしい市になると思います。

活動状況の発信（市民に対して）が少ない。

後継者が少い。練習場所が確保できない。

（参加見学）高齢者の方をよくみかけます。若い人が参加出来るような企画が今後必要かと思います。

演奏会に後援して下さるのは有難いですが、もう少し大きく扱っていただけたらとも思います。

情報発信を効率良くできたら（興味を持っている人が気軽に行きたいと思えるように）。

◎公共施設で日頃どのようなサークルが活動しているのか、その内容や様子を広く知ってもらうこと。  
◎老人施設の利用者や学校関係に声をかけ見学に来てもらう。（老人や子供達に）  
◎高令者は気持ちがあっても、なかなかサークル等に入るまでの思い切りがない。  
介護に関わる人などがサークルの活動内容や目的などを知っていて、入会への背中を押してほしい。  
高令者のひきこもりや認知症の予防にもつながると思うので。  
◎施設等への出張講習をする。

SNS で各イベントを一覧で見られる等、簡単で効率的な発信をしてほしいです。紙媒体での宣伝は限界があると思います。

せん伝、広告が大切かなと思います。

恒例行事がマンネリ化しているのではないのでしょうか。新たなシカケと情報発信の仕方などが必要ではないのでしょうか？

「文化芸術」の枠の中だけでなく例えば商店街や商工団体との連携などによる企画を考えるとか。

駐車場無料、音を出していい練習場所の数。バンビオの利用とにかく高いのがこまる。歌う方も聴きにくる方も。

発表の場があることと、広報で市民が知る機会があると良いと思う。

## クロス集計

※年代について無回答であった2件を除く

※年齢は60歳以下、60歳以上、幅広い世代に分散の3種に集約

### 【年代×人数】

※各年代の上位2つの欄に色付け

	個人	2 ～ 10 人	1 ～ 20 人	2 ～ 30 人	3 ～ 40 人	4 ～ 50 人	5 人 以上	無 回 答
60歳以下(N=47)	6.4%	34.0%	21.3%	6.4%	8.5%	2.1%	10.6%	10.6%
60歳以上(N=98)	4.1%	36.7%	33.7%	10.2%	5.1%	3.1%	2.0%	5.1%
幅広い世代に分散(N=28)	7.1%	21.4%	50.0%	10.7%	7.1%	0.0%	3.6%	0.0%

### 【年代×活動分野】

※各年代の上位3つの欄に色付け

	絵 画	合 唱	楽 器 演 奏	ダ ン ス	工 芸	気 功 ・ ヨ ガ ・ 体 操	語 学	古 典 芸 能	書 道	会 議 ・ 学 習 会	手 芸	パ レ エ	ス ポ ー ツ	川 柳 ・ 短 歌 ・ 漢 詩	朗 読	茶 道 ・ 華 道	福 祉	囲 碁 ・ 将 棋	写 真	そ の 他	無 回 答
60歳以下(N=47)	2.1%	2.1%	17.0%	12.8%	2.1%	8.5%	4.3%	0.0%	4.3%	10.6%	2.1%	6.4%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	14.9%	6.4%
60歳以上(N=98)	17.3%	12.2%	5.1%	6.1%	9.2%	5.1%	7.1%	8.2%	4.1%	0.0%	3.1%	0.0%	2.0%	4.1%	2.0%	1.0%	1.0%	2.0%	1.0%	4.1%	5.1%
幅広い世代に分散(N=28)	3.6%	14.3%	10.7%	10.7%	7.1%	10.7%	3.6%	3.6%	3.6%	7.1%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	7.1%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%

### 【年代×課題】

※各年代の上位3つの欄に色付け

	メ ン バ ー の 高 齢 化	メ ン バ ー の 減 少	メ ン バ ー を 募 集 し て も 集 ま ら な い	活 動 場 所 の 確 保	情 報 発 信 ( P R ) の 手 段 が 少 な い	活 動 経 費 の 負 担 が 大 き い	指 導 者 の 確 保	技 量 ・ レ ベ ル の 向 上	発 表 の 機 会 が 少 な い	他 団 体 と 交 流 す る 機 会 が 少 な い	特 に 課 題 は な い	そ の 他	無 回 答
60歳以下(N=47)	12.8%	21.3%	12.8%	8.5%	10.6%	10.6%	6.4%	10.6%	4.3%	6.4%	14.9%	2.1%	25.5%
60歳以上(N=98)	59.2%	39.8%	21.4%	10.2%	10.2%	5.1%	7.1%	6.1%	3.1%	4.1%	7.1%	2.0%	18.4%
幅広い世代に分散(N=28)	35.7%	21.4%	14.3%	25.0%	3.6%	17.9%	10.7%	0.0%	7.1%	0.0%	14.3%	7.1%	10.7%

## 文化・スポーツ活動に関するアンケート調査結果

(1) 調査目的

本調査は市内の子どもや、その保護者の文化芸術・スポーツ活動の実態や課題、ニーズを把握するために実施した。

(2) 調査対象

長岡京市内公立小中学校全校児童・生徒全員の保護者

(3) 調査方法

各小学校・中学校を通して全校児童・生徒全員にアンケート用紙を配布。クラス担任に提出もしくは市役所に直接提出することで回収

(4) 実施期間

令和元年7月8日(月)～7月17日(水)

(5) 配布数

6,655枚(うち小学校4,579枚、中学校2,076枚)

※令和元年5月1日時点の児童・生徒数

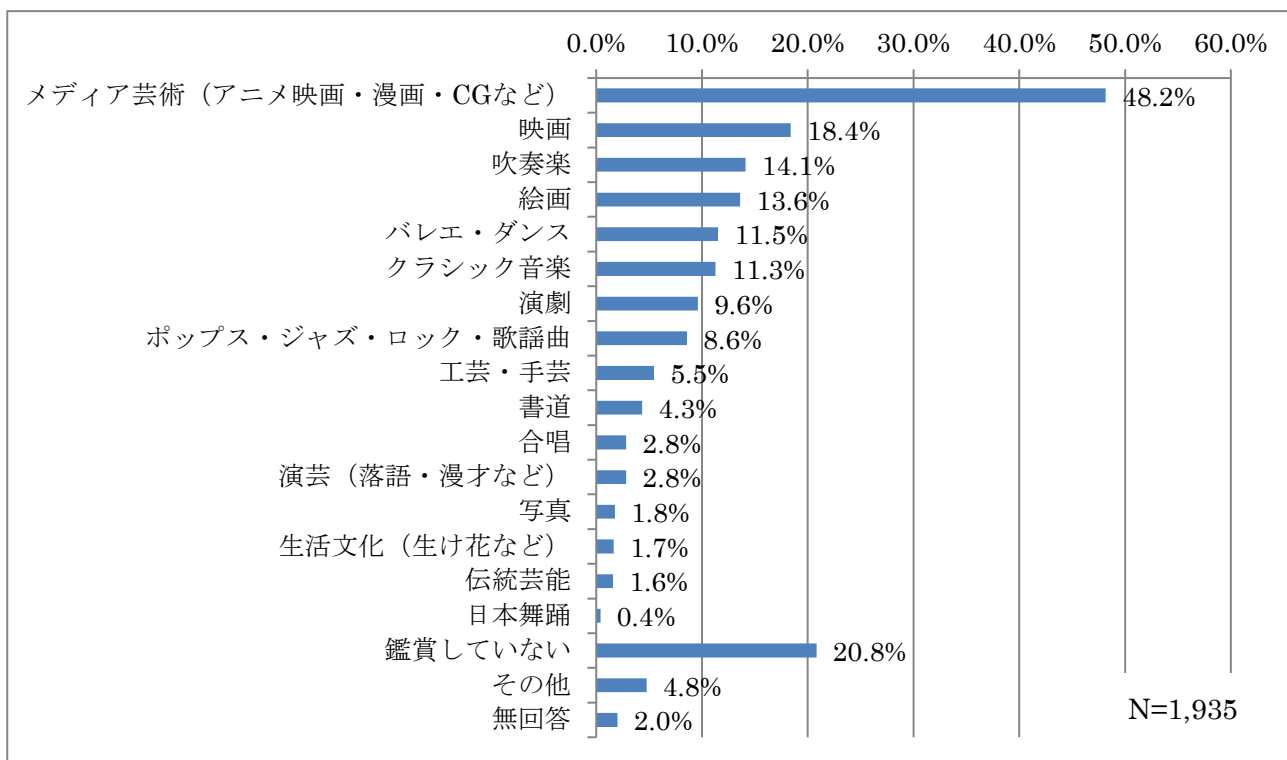
(6) 回収数

1,935枚(うち小学校1,667枚、中学校268枚)

(7) 回収率

29.1%(小学校36.4%、中学校12.9%)

問1 この1年間に、ホール、展示施設、映画館など、親子でどこかに出かけて文化芸術を鑑賞したことがありますか。鑑賞した内容を選択してください。(複数回答可)  
 ※プロだけでなくアマチュアの公演・展覧会も含まれます。



「その他」の自由記述の主な内容 その他を選択した92名のうち88名が回答。上位の回答を抽出。

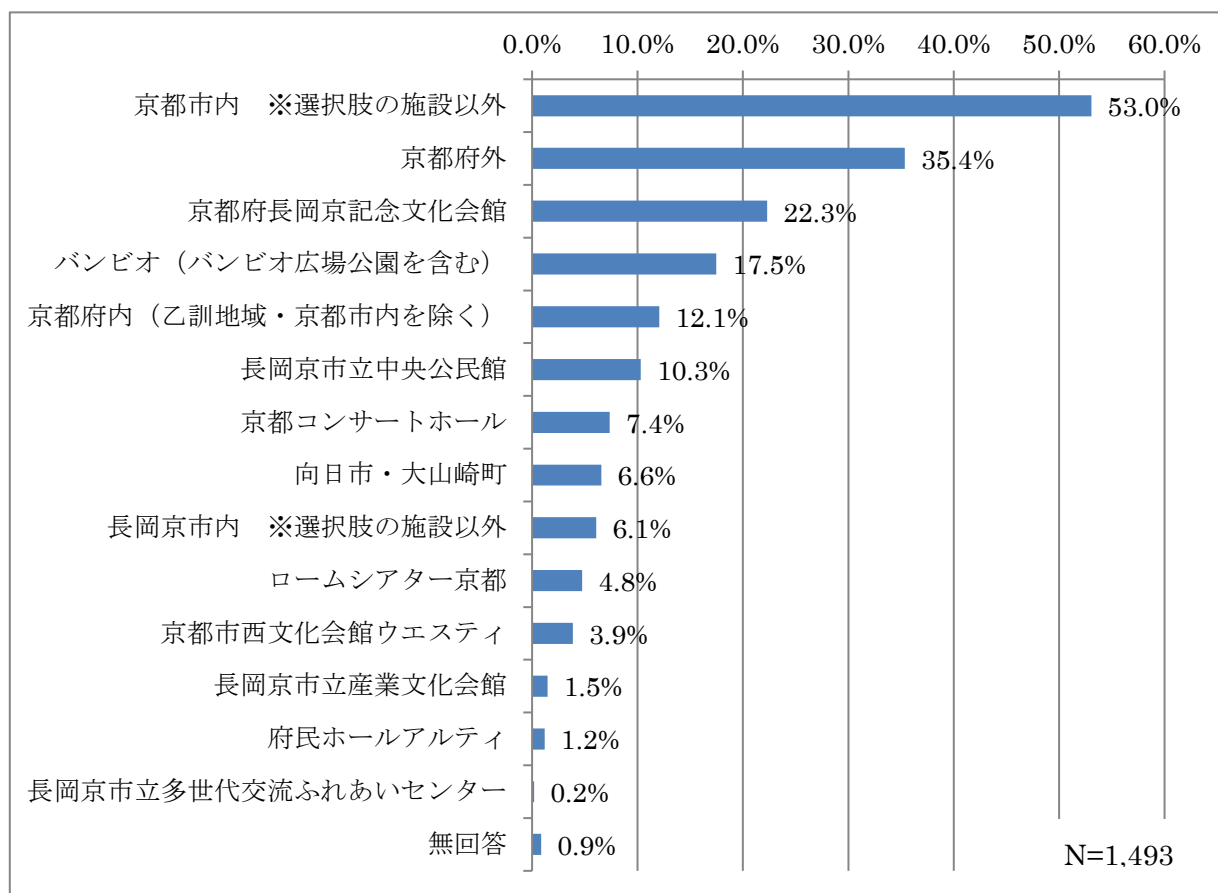
内容	回答数	内容	回答数
ピアノやエレクトーンの発表会	14	プラネタリウム	5
長岡京市小学生アイデア作品展	6	恐竜博・大恐竜博・恐竜博物館	5

	メディア芸術 (アニメ映画・漫画・CGなど)	映画	吹奏楽	絵画	バレエ・ダンス	クラシック音楽	演劇	謡曲	ポップス・ジャズ・ロック・歌謡曲	工芸・手芸	書道	合唱	演芸 (落語・漫才など)	写真	生活文化 (生け花など)	伝統芸能	日本舞踊	鑑賞していない	その他	無回答
全体 (N=1935) 学齢不明の29名を含む	48.2%	18.4%	14.1%	13.6%	11.5%	11.3%	9.6%	8.6%	5.5%	4.3%	2.8%	2.8%	1.8%	1.7%	1.6%	0.4%	20.8%	4.8%	2.0%	
小学校1～3年生 (N=980)	55.6%	13.9%	12.4%	12.7%	12.4%	12.7%	11.0%	7.6%	6.1%	3.9%	2.2%	2.2%	1.8%	1.4%	1.3%	0.3%	19.8%	4.9%	1.1%	
小学校4～6年生 (N=663)	48.3%	21.7%	14.0%	16.0%	12.4%	12.1%	9.4%	9.4%	5.9%	5.7%	4.5%	3.9%	1.5%	2.4%	1.5%	0.5%	20.2%	5.3%	0.9%	
中学校1年生 (N=130)	26.9%	26.2%	23.8%	10.8%	9.2%	3.8%	6.9%	10.8%	0.8%	4.6%	0.8%	3.8%	3.1%	0.0%	3.1%	0.0%	20.8%	2.3%	3.8%	
中学校2年生 (N=74)	20.3%	21.6%	16.2%	17.6%	4.1%	9.5%	2.7%	8.1%	6.8%	1.4%	1.4%	0.0%	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	37.8%	4.1%	4.1%	
中学校3年生 (N=59)	16.9%	37.3%	20.3%	6.8%	6.8%	3.4%	5.1%	11.9%	1.7%	1.7%	1.7%	3.4%	1.7%	0.0%	5.1%	0.0%	28.8%	1.7%	5.1%	

※各学齢の上位2つの回答欄に色付け



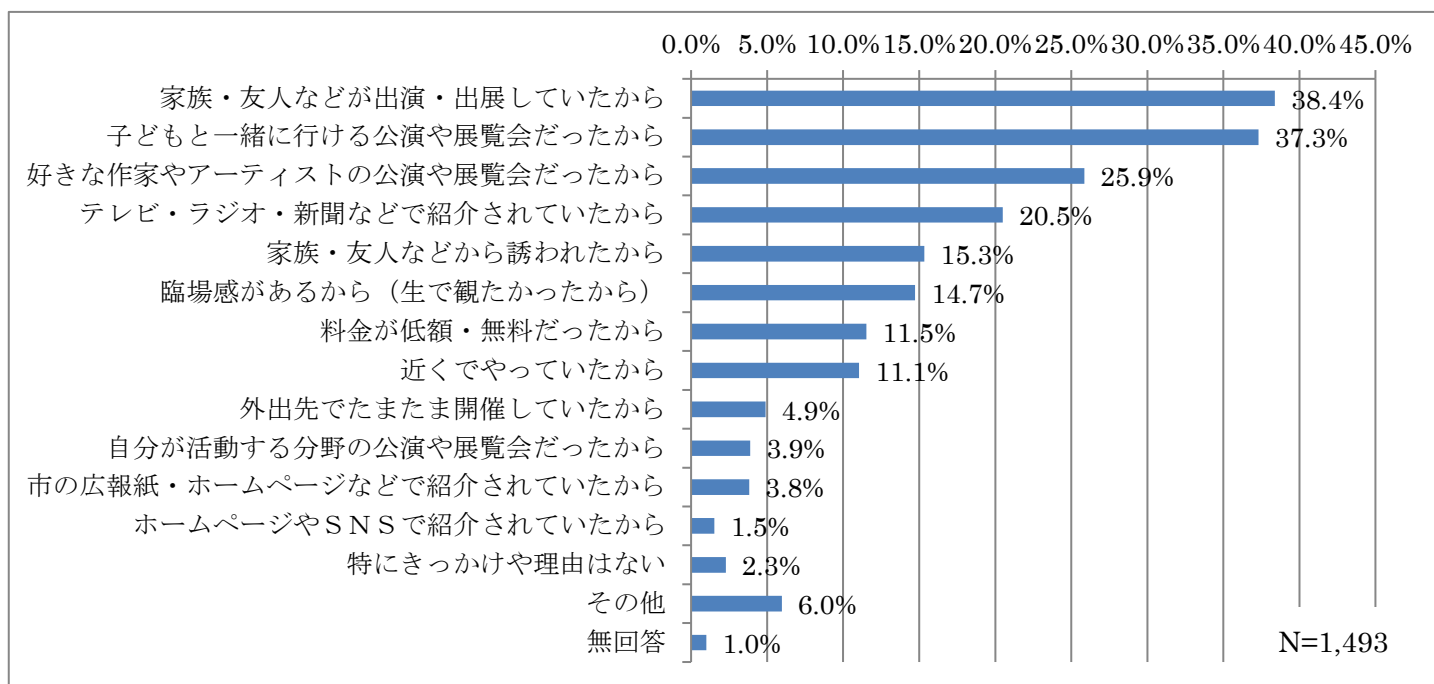
問2 問1で「鑑賞したことがある」方のみ回答ください。  
鑑賞するために出かけた場所はどこですか。(複数回答可)



	京都市内 ※選択肢の施設以外	京都府外	京都府長岡京記念文化会館	バンビオ (バンビオ広場公園を含む)	京都府内 (乙訓地域・京都市内を除く)	長岡京市立中央公民館	京都コンサートホール	向日市・大山崎町	外長岡京市内 ※選択肢の施設以外	ロームシアター京都	京都市西文化会館ウエスティ	長岡京市立産業文化会館	府民ホールアルティ	セリター 長岡京市立多世代交流ふれあい	無回答
全体 (N=1493) 学齢不明の15名を含む	792 53.0%	528 35.4%	333 22.3%	261 17.5%	180 12.1%	154 10.3%	110 7.4%	98 6.6%	91 6.1%	71 4.8%	58 3.9%	22 1.5%	18 1.2%	3 0.2%	13 0.9%
小学校1～3年生 (N=775)	52.9%	34.8%	19.5%	17.8%	13.3%	9.8%	6.2%	5.9%	6.1%	4.6%	3.4%	1.2%	1.2%	0.3%	0.8%
小学校4～6年生 (N=523)	55.4%	35.0%	24.5%	15.1%	11.9%	11.3%	7.6%	7.5%	6.5%	3.8%	5.4%	1.5%	1.7%	0.2%	0.8%
中学校1年生 (N=98)	48.0%	37.8%	26.5%	23.5%	5.1%	9.2%	8.2%	6.1%	4.1%	3.1%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%	2.0%
中学校2年生 (N=43)	44.2%	39.5%	32.6%	20.9%	9.3%	11.6%	18.6%	4.7%	7.0%	14.0%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
中学校3年生 (N=39)	48.7%	41.0%	28.2%	25.6%	15.4%	10.3%	10.3%	10.3%	5.1%	12.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※各学齢の上位2つの回答欄に色付け

問3 問1で「鑑賞したことがある」方のみ回答ください。  
鑑賞をした理由やきっかけは何ですか。(複数回答可)



「その他」の自由記述の主な内容 その他を選択した89名のうち81名が回答。上位の回答を抽出。

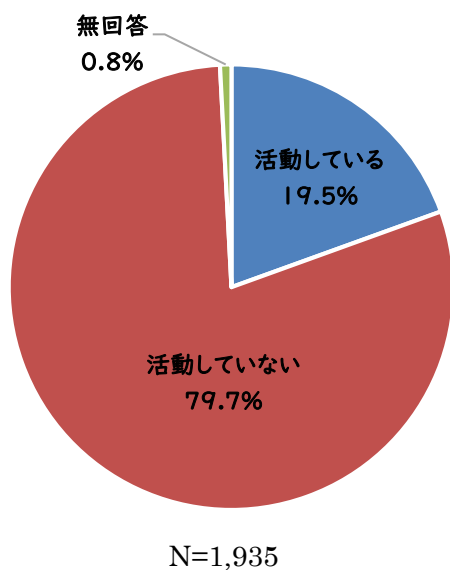
内容	回答数	内容	回答数
子どもが行きたいと言ったから	34	学校からチラシなどが配られたから	4
子どもが出演・出品していたから	7	子どもに見せてあげたかったから	4

	て家族・友人などが出演・出展したから	子どもと一緒にいける公演や展覧会だったから	好きな作家やアーティストの公演や展覧会だったから	テレビ・ラジオ・新聞などで紹介されていたから	家族・友人などから誘われたから	臨場感があるから(生で観たかったから)	料金が低額・無料だったから	近くでやっていたから	外出先でたまたま開催していたから	自分が活動する分野の公演や展覧会だったから	市の広報紙・ホームページなどで紹介されていたから	ホームページやSNSで紹介されていたから	特にきっかけや理由はない	その他	無回答
全体 (N=1493) 学齢不明の15名を含む	573	557	386	306	229	220	172	165	73	58	57	23	34	89	15
小学校1~3年生 (N=775)	34.5%	42.3%	23.0%	20.3%	16.1%	14.1%	12.9%	14.2%	5.3%	3.4%	4.4%	1.3%	2.2%	6.5%	0.9%
小学校4~6年生 (N=523)	41.5%	34.2%	27.7%	21.6%	14.9%	16.3%	11.7%	8.8%	4.8%	5.4%	3.6%	2.1%	2.1%	6.1%	1.0%
中学校1年生 (N=98)	44.9%	23.5%	29.6%	21.4%	12.2%	11.2%	5.1%	6.1%	3.1%	2.0%	3.1%	0.0%	2.0%	3.1%	2.0%
中学校2年生 (N=43)	58.1%	27.9%	37.2%	20.9%	11.6%	14.0%	4.7%	4.7%	4.7%	2.3%	2.3%	4.7%	4.7%	2.3%	0.0%
中学校3年生 (N=39)	41.0%	23.1%	35.9%	12.8%	15.4%	15.4%	10.3%	2.6%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	5.1%	2.6%	0.0%

※各学齢の上位2つの回答欄に色付け

問4 あなたはこの1年間に鑑賞以外で、自分自身で作品を創作したり、演じたり、習ったりするなど文化芸術活動をしたことがありますか。

※保護者自身に対する質問



	活動している	活動していない	無回答
全体 (N=1935) 学齢不明の29名を含む	377 19.5%	1542 79.7%	16 0.8%
小学校1～3年生 (N=980)	18.6%	81.0%	0.4%
小学校4～6年生 (N=663)	21.3%	78.4%	0.3%
中学校1年生 (N=130)	20.0%	80.0%	0.0%
中学校2年生 (N=74)	20.3%	79.7%	0.0%
中学校3年生 (N=59)	18.6%	81.4%	0.0%

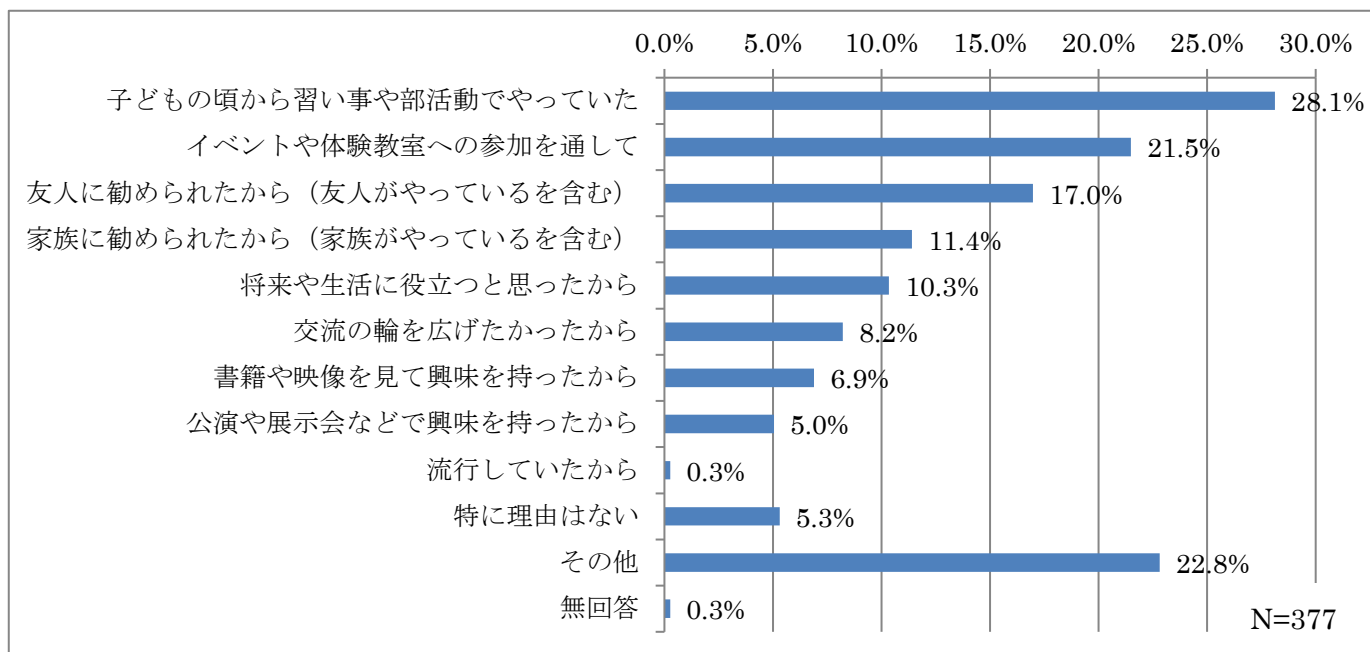
#### 活動内容についての主な回答

過去1年間に文化芸術活動をしたことが「ある」と選択した377名のうち、264名が回答した活動内容の集計結果（延べ回答数）

内容	回答数	内容	回答数
ピアノ・エレクトーン	52	書道・習字	23
手芸	41	ダンス・バレエ	21
工芸	37	その他楽器演奏	18
合唱・歌唱	31	絵画	11

問5 問4で「ある」を選択した方のみ回答ください。

活動をはじめたきっかけは何ですか。（複数回答可）



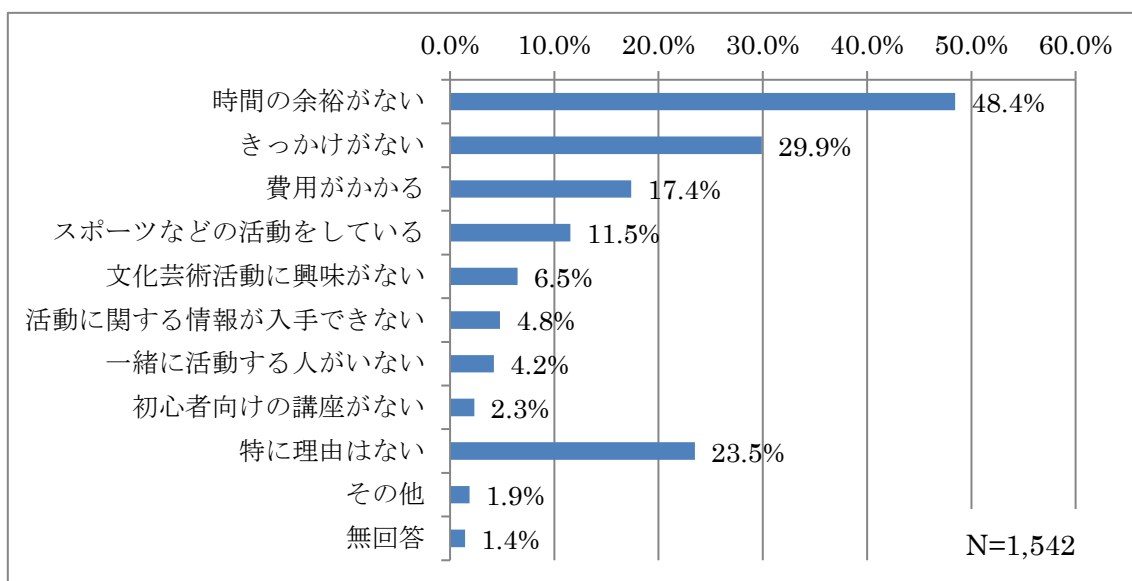
「その他」の自由記述の主な内容 その他を選択した86名のうち81名が回答。上位の回答を抽出。

内容	回答数	内容	回答数
その活動が好きだから	12	やってみたくと思ったから	5
仕事としてやっているから	5	昔から趣味として続けているから	5

	子ども頃の頃か 習い事や部活動	イベントや体験教室への参加を 通して	友人に勧められたから (友人がやっていたり勧められたから)	家族に勧められたから (家族がやっていたり勧められたから)	将来や生活に役立つと思ったから	交流の輪を広げたかったから	書籍や映像を見て興味を持ったから	公演や展示会などで興味を持ったから	流行していたから	特に理由はない	その他	無回答
全体 (N=377) 学齢不明の2名を含む	106 28.1%	81 21.5%	64 17.0%	43 11.4%	39 10.3%	31 8.2%	26 6.9%	19 5.0%	1 0.3%	20 5.3%	86 22.8%	1 0.3%
小学校1～3年生 (N=182)	24.7%	18.7%	16.5%	9.9%	10.4%	7.7%	7.1%	3.8%	0.0%	6.6%	25.3%	0.0%
小学校4～6年生 (N=141)	30.5%	25.5%	18.4%	12.8%	11.3%	9.2%	5.0%	5.7%	0.7%	4.3%	21.3%	0.0%
中学校1年生 (N=26)	30.8%	11.5%	19.2%	19.2%	3.8%	3.8%	11.5%	11.5%	0.0%	3.8%	23.1%	0.0%
中学校2年生 (N=15)	40.0%	33.3%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	20.0%	0.0%
中学校3年生 (N=11)	27.3%	27.3%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%

※各学齢の上位2つの回答欄に色付け

問6 問4で「ない」を選択した方のみ回答ください。  
活動をしていない理由は何ですか。(複数回答可)



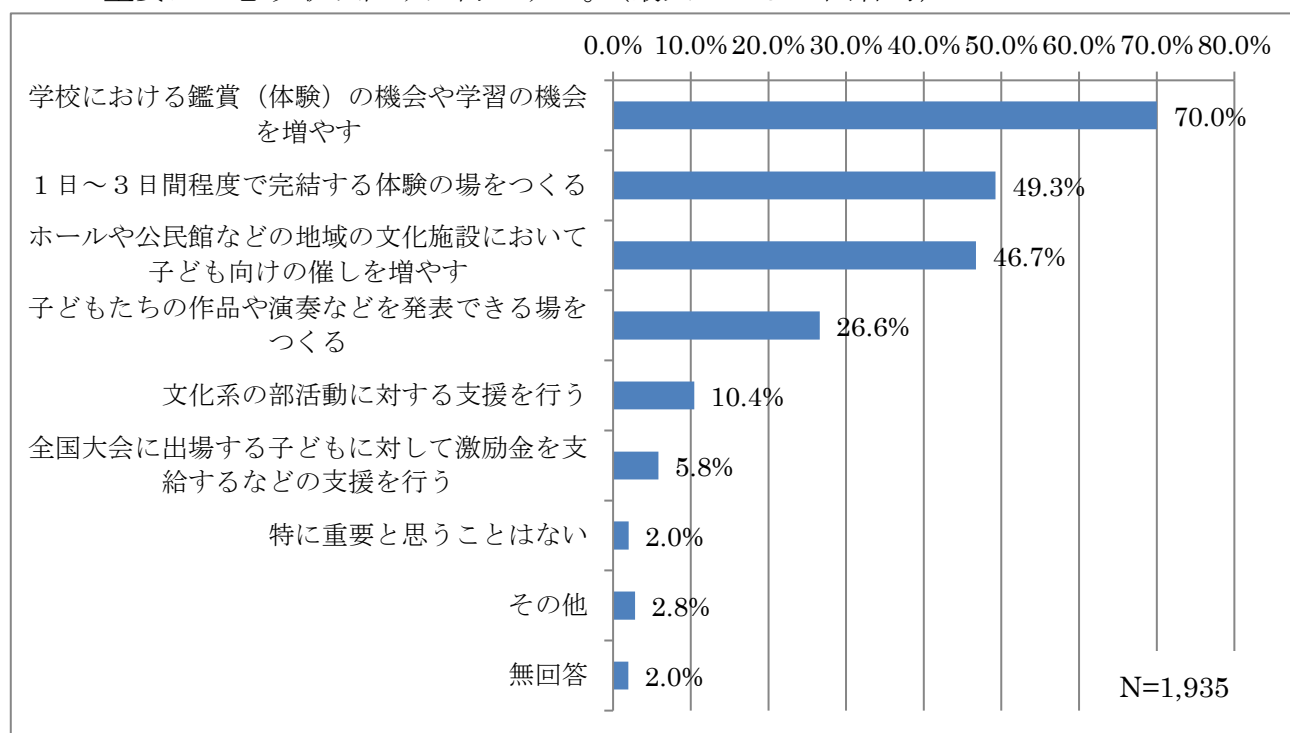
「その他」の自由記述の主な内容 その他を選択した29名のうち26名が回答。上位の回答を抽出。

内容	回答数	内容	回答数
小さな子どもがいるから	13	仕事が忙しいから	2
興味が他のものに向いているから	2	お金や心の余裕がないから	2

	時間の余裕がない	きつかけがない	費用がかかる	スポーツなどの活動をしている	文化芸術活動に興味がない	活動に関する情報が入手できない	一緒に活動する人がいない	初心者向けの講座がない	特に理由はない	その他	無回答
全体 (N=1542) 学齢不明の17名を含む	747 48.4%	461 29.9%	268 17.4%	178 11.5%	100 6.5%	74 4.8%	65 4.2%	36 2.3%	362 23.5%	29 1.9%	22 1.4%
小学校1～3年生 (N=794)	50.5%	30.7%	19.3%	8.3%	5.9%	4.7%	4.2%	2.6%	22.8%	1.9%	1.6%
小学校4～6年生 (N=520)	49.0%	29.8%	14.8%	15.6%	6.3%	4.2%	3.7%	1.7%	22.7%	1.9%	0.8%
中学校1年生 (N=104)	42.3%	26.9%	15.4%	11.5%	11.5%	6.7%	5.8%	1.9%	26.9%	1.0%	1.0%
中学校2年生 (N=59)	40.7%	28.8%	18.6%	11.9%	6.8%	5.1%	5.1%	5.1%	28.8%	3.4%	0.0%
中学校3年生 (N=48)	37.5%	27.1%	20.8%	16.7%	6.3%	6.3%	6.3%	2.1%	31.3%	0.0%	2.1%

※各学齢の上位2つの回答欄に色付け

問7 次世代を担う子どもたちの文化芸術鑑賞や文化芸術活動を充実させるために、特に重要だと思う取り組みは何ですか。(最大3つまで回答可)



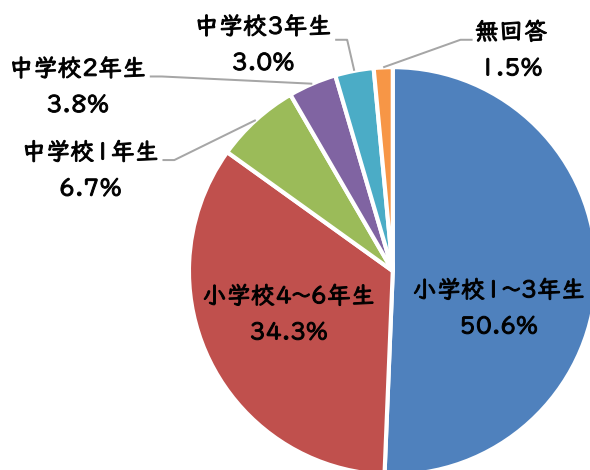
内容	回答数	内容	回答数
文化系などの部活動を増やす	10	一流・本物の芸術に触れる	4
鑑賞や活動の金銭負担の軽減	7	200～300名規模のホールの設立	2

	学校や学習の機会を増やす(体験)の機会	1日～3日間程度で完結する体験の場をつくる	ホールや公民館などの地域の文化施設において子ども向けの催しを増やす	子どもたちの作品や演奏などを発表できる場をつくる	文化系の部活動に対する支援を行う	全国大会に出場する子どもに對して激励金を支給するなどの支援を行う	特に重要と思うことはない	その他	無回答
全体 (N=1935) 学齢不明の29名を含む	1355	953	904	515	202	113	39	55	38
	70.0%	49.3%	46.7%	26.6%	10.4%	5.8%	2.0%	2.8%	2.0%
小学校1～3年生 (N=980)	71.9%	50.8%	50.1%	28.2%	8.0%	5.4%	1.5%	3.1%	1.7%
小学校4～6年生 (N=663)	70.3%	50.1%	46.8%	25.6%	11.5%	5.0%	2.4%	2.1%	0.5%
中学校1年生 (N=130)	66.9%	43.8%	41.5%	25.4%	18.5%	11.5%	2.3%	3.8%	0.8%
中学校2年生 (N=74)	71.6%	47.3%	32.4%	21.6%	20.3%	9.5%	2.7%	5.4%	0.0%
中学校3年生 (N=59)	59.3%	42.4%	32.2%	28.8%	11.9%	6.8%	3.4%	1.7%	5.1%

※各学齢の上位2つの回答欄に色付け

問8～問10についてはスポーツ活動に関する設問のため割愛

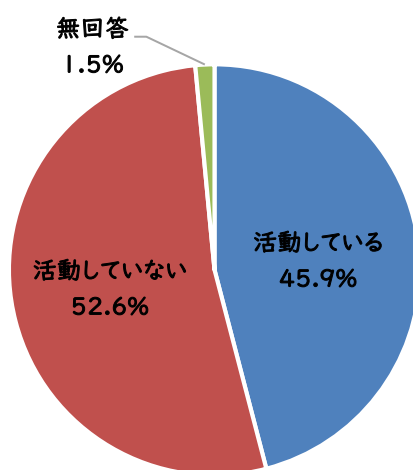
問 1 1 お子様の学齢はどれですか。



小学校1～3年生	980
小学校4～6年生	663
中学校1年生	130
中学校2年生	74
中学校3年生	59
無回答	29
合計	1935

N=1,935

問 1 2 現在、お子様は習い事、部活動などで文化芸術活動をしていますか。



	活動している	活動していない	無回答
全体 (N=1935) 学齢不明の29名を含む	889 45.9%	1017 52.6%	29 1.5%
小学校1～3年生 (N=980)	44.6%	55.4%	0.0%
小学校4～6年生 (N=663)	48.9%	50.8%	0.3%
中学校1年生 (N=130)	53.1%	46.9%	0.0%
中学校2年生 (N=74)	47.3%	52.7%	0.0%
中学校3年生 (N=59)	39.0%	61.0%	0.0%

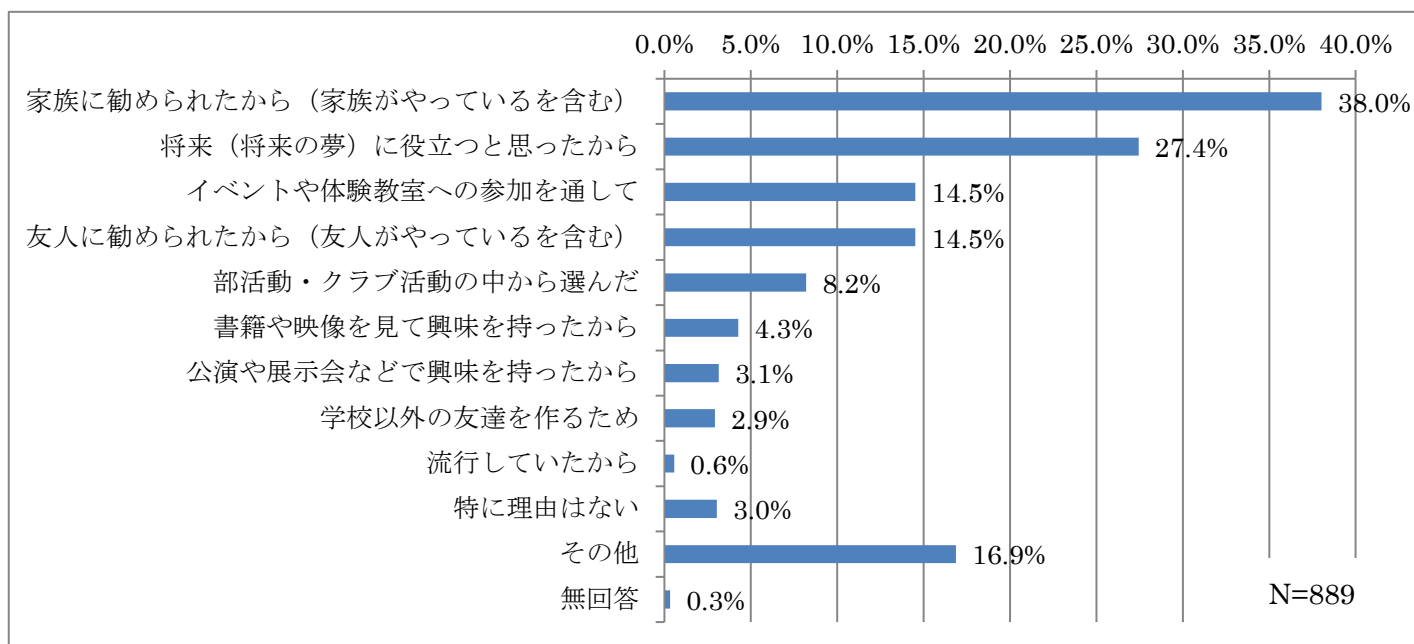
N=1,935

### 活動内容についての主な回答

習い事・部活動などで文化芸術活動をしていると選択した 889 名のうち、619 名が回答した活動内容の集計結果 (延べ回答数)

内容	回答数	内容	回答数
ピアノ・エレクトーン	306	その他楽器演奏	17
書道・習字	117	英語	11
ダンス・バレエ	90	合唱	8
吹奏楽・ブラスバンド	30	音楽	8
絵画	29	図工・造形	8

問13 問12で「活動している」を選択した方のみ回答ください。  
活動をはじめたきっかけは何ですか？（複数回答可）



「その他」の自由記述の主な内容 その他を選択した150名のうち128名が回答。上位の回答を抽出。

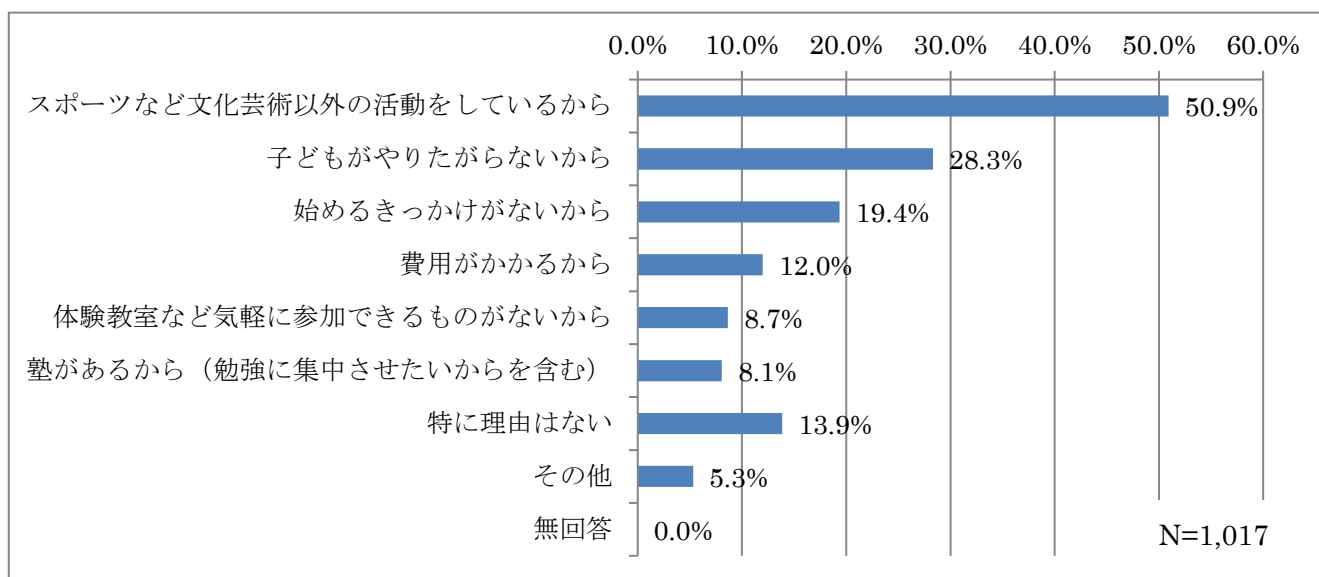
内容	回答数	内容	回答数
本人の希望・意志	58	近所で教室等があったから	5
興味があったから	19	自信をつけるため	4

	家族に勧められたから（家族がやっているを含む）	将来（将来の夢）に役立つと思ったから	イベントや体験教室への参加を通して	友人に勧められたから（友人がやっているを含む）	部活動・クラブ活動の中から選んだ	書籍や映像を見て興味を持ったから	公演や展示会などで興味を持ったから	学校以外の友達を作るため	流行していたから	特に理由はない	その他	無回答
全体 (N=889) 学齢不明の1名を含む	338 38.0%	244 27.4%	129 14.5%	129 14.5%	73 8.2%	38 4.3%	28 3.1%	26 2.9%	5 0.6%	27 3.0%	150 16.9%	3 0.3%
小学校1～3年生 (N=437)	36.6%	32.7%	15.8%	12.4%	0.7%	5.0%	3.9%	3.2%	0.5%	2.5%	18.3%	0.2%
小学校4～6年生 (N=324)	40.4%	25.3%	14.2%	17.3%	4.0%	2.5%	1.5%	3.7%	0.9%	4.0%	17.3%	0.6%
中学校1年生 (N=69)	37.7%	13.0%	8.7%	17.4%	46.4%	8.7%	2.9%	0.0%	0.0%	2.9%	11.6%	0.0%
中学校2年生 (N=35)	40.0%	17.1%	17.1%	17.1%	40.0%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.4%	0.0%
中学校3年生 (N=23)	30.4%	17.4%	8.7%	4.3%	43.5%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	8.7%	0.0%

※各学齢の上位2つの回答欄に色付け



問14 問12で「活動していない」を選択した方のみ回答ください。  
活動をしていない理由は何ですか。(複数回答可)



「その他」の自由記述の主な内容 その他を選択した54名のうち53名が回答。上位の回答を抽出。

内容	回答数	内容	回答数
親が忙しいから	12	生活の中で文化芸術に触れている	5
子どもが忙しいから	8	今は遊びを優先させたい	4
興味を持つ・成長するのを待っている	6	何を始めるか検討している最中	4

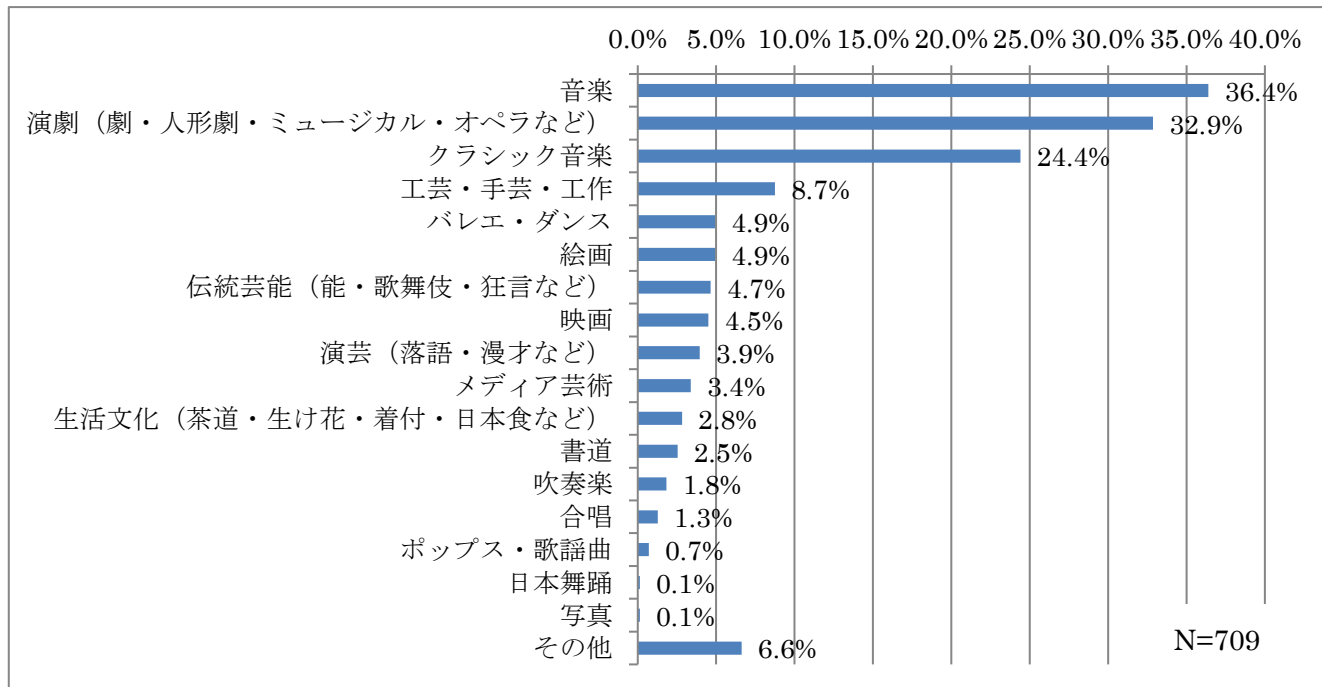
	スポーツなど文化芸術以外の活動をしているから	子どもがやりたがらないから	始めるきっかけがないから	費用がかかるから	体験教室など気軽に参加できるものがないから	塾があるから(勉強に集中させたいからを含む)	特に理由はない	その他	無回答
全体 (N=1017) 学齢不明の1名を含む	518 50.9%	288 28.3%	197 19.4%	122 12.0%	88 8.7%	82 8.1%	141 13.9%	54 5.3%	0 0.0%
小学校1~3年生 (N=543)	47.9%	25.8%	23.9%	13.3%	11.4%	4.1%	16.4%	6.4%	0.0%
小学校4~6年生 (N=337)	49.9%	31.8%	15.7%	10.4%	5.6%	12.5%	12.2%	4.5%	0.0%
中学校1年生 (N=61)	70.5%	29.5%	6.6%	4.9%	4.9%	11.5%	8.2%	1.6%	0.0%
中学校2年生 (N=39)	59.0%	30.8%	7.7%	17.9%	2.6%	12.8%	10.3%	7.7%	0.0%
中学校3年生 (N=36)	66.7%	27.8%	19.4%	13.9%	8.3%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%

※各学齢の上位2つの回答欄に色付け

問15 どのような公演・イベントがあれば親子で行ってみたいと思うか教えてください。  
 その他、文化芸術に関するご意見ご要望をご記入ください。

①行ってみたいジャンルについて

自由記述に記載のあった858名のうち、具体的なジャンルの記載があった709名の回答から分類



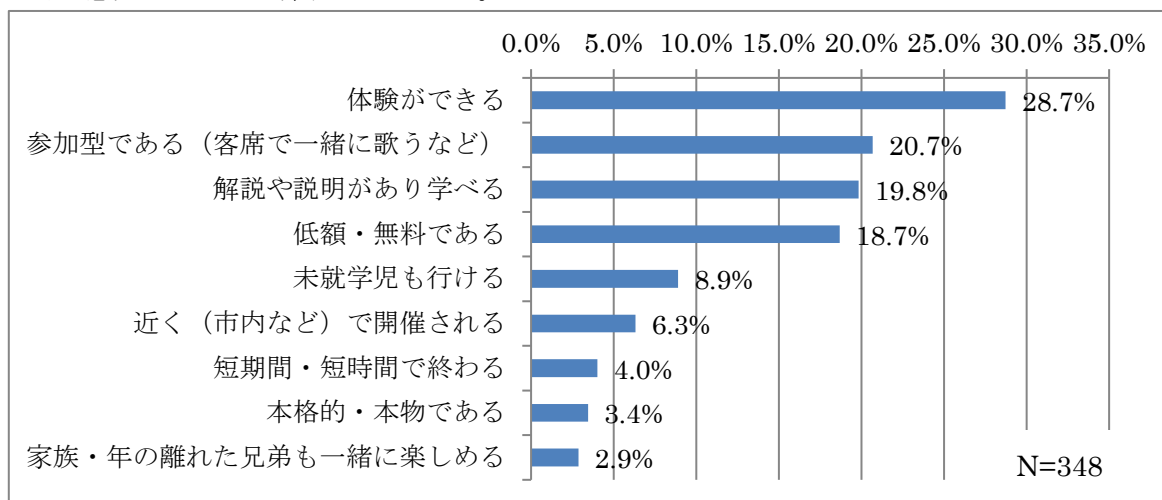
「その他」に分類された主な内容 その他に分類された47件の回答のうち上位を抽出。

内容	回答数	内容	回答数
科学体験・科学実験	10	芸術家や絵本作家などの講演	7
プログラミング	8	学生・子どもたちの発表	6

②公演やイベントの環境や仕組みに関する要望・希望

自由記述に記載のあった858名のうち、環境や仕組みに関する要望・希望の記載があった348名の回答から抽出

※設問の主旨として、“親子で行く”ことが前提条件であるため、「子ども向けである」という基本的な意見については集計していない。



③その他の意見等（抜粋）原文ママ

<p>観劇や音楽発表会は長岡京市内で活発に開催されておりますが、絵画展はあまり開催されておらず、多県に行くことが多い。長岡京市内でもたまには絵画展を開催していただきたく思います。</p>
<p>長岡の会社や商店とコラボしたイベント。ハードルが下がりイメージが付きやすい。会社側にとっても広告になる。Murata でロボット作りを学ぶ。ロビンガーデンでよせうえ作り。西山短大の学生と何かする。柳谷寺でいけばな体験など。</p>
<p>例に出されているものは全て行ってみたいですが、1才の子がいるので乳幼児連れて泣いたら途中で出ないとなので、私の重い腰が動きません。下の子が就園後の楽しみにとっておきます。親も子も楽しめる文化芸術イベント、公演がもっと盛り上がってより魅力的な長岡京市になりますように。</p>
<p>観るだけではなく、体験参加型の公演イベントが多くあると良いですね。なぜなら、そういうイベントは抽選が多かったり、未就学児は入れないなどの「行けない」理由がたくさんあるからです。子供が行きたいと言ってもあきらめなければいけないイベント公演が多いです。小学生の間にいろんな事に触れてほしいと思うので残念です。</p>
<p>様々なイベントがあるのは知っていますが、土日だとスポーツなどしている子はそっちが優先になりなかなか参加できない。</p>
<p>料金が高額で生の文化芸術に触れたい触れさせたくてもハードルが高く、結局もう少し低額な娯楽を選択してしまう。もう少し演者へ補助金を出し、観客が安価で楽しめる事を望みます。</p>
<p>日曜日の午前中にテレビでやっている「ミライモンスター」という番組をしていますか？スポーツ・文化芸術で日々頑張っている子供たち、将来大きな夢に向かって頑張っている長岡京市内の子供たちを広報に載せたり応援したら同じ気持ちで頑張っている子供たちの励みになると思います。</p>
<p>ジュニアオーケストラを乙訓地域で創ってほしいです（京都市内はありますが京都市民しか参加できません）。</p>
<p>土曜日やこ教室のように選べて幅広く、短期のものと、第〇回シリーズがあったり、夏休みの企画・定員枠をもっと増やしてほしい。子供のアトリエ系、参加型のもの、アニメやゲームのオーケストラ。文化芸術は費用がかかると思っている家庭が多いでしょうから、その思いをくつがえして気軽に行けるもののがいいです。長岡天神駅前のイズミヤでは、パソコン月 5000 円ほど、ピアノ月 2000 円、英語月 5000 円、体そう月 4000 円、書写月 1500 円等ありますが、やはり定員があるのでみんな習うことはできない。長岡京にはサークルもたくさんありますが、子供のものは少ないです。大人だけとか。</p>
<p>中学校に入学してから部活を決めるまでの日数があまり無いので、日頃から小学校と中学校の交流が何度かあって、部活動の光景を親子で見学できる機会があったらいいなと思います。</p>
<p>すくすく教室が各小学校により差があると聞きました。A 小はすごいのがやってる。B 小はたいしたことない等。均等にして欲しいなぁ～と思います。</p>
<p>夏休み中によく企画されていますが、親が勤めているので、土日などに行けるイベントを増やして欲しい。</p>
<p>要望：少年少女合唱団の募集・活動にあたって、市で支援して欲しいです。他市では支援のある団もあるので検討していただきたいです。学年、学校をこえて一緒に活動できる場は子どもたちの健全な成長と文化芸術の促進につながると思います。</p>

近くで気軽に参加できる1日体験があれば行ってみたいと思います。また、映画を見たり、観劇する場合は、どうしても市外になってしまうので、映画館や大きな演劇ホール、美術館などが長岡京市内（特に東部）にあると、子どもも文化芸術を身近に感じる事ができるのではと思います。

4年前に市立公民館でオペラモーツアルト「ティートの慈悲」のゲネプロ鑑賞、小学生無料招待があり、親子でとても感動し、「オペラっておもしろいね！」とおおいに楽しみました。大変レベルの高いもので、また機会があればいいのになと毎年思っています。

親は仕事、子供は土日でも部活。一緒に出かけるのは大変難しいです。きっかけづくりを学校でもらえると、はじめの一步を忙しくても踏み出せないかなと思います。文化芸術活動は必要だと思います。ただ、どうしても後回し、二の次になります。活動を必須にするなど、最初は「仕方なく」でも文化芸術に触れる機会をふやしてほしいです。

吹奏楽部ですが、働き方改革で練習時間があまりにも減ってしまい、練習時間や場所が確保できず子供達が大変困っています。長岡京市の吹奏楽はレベルが高く、ある程度の練習がないとこのままではレベルが下がり、ヤル気も落ちそうです。何とかしてやってほしいと思います。去年の1/3しかないそうです。

もう少し市の補助金がほしいです！！（吹部に）。

乙訓地域は学校行事に音楽会がないこと自体が信じられない。他府県では運動会・音楽会が学校行事の中心となっている。音楽専科の教諭が配置されていないことも疑問です。こんな環境で子ども達の文化活動が充実するわけがない。これが文化発信の京都の町でいいのでしょうか。こんなアンケートまでとるならやりっぱなしでなく、具体的な改善策や行動を市民に示してほしい。学校行事など簡単に変えられるものではないのはわかっていますが…（元教員）。

## クロス集計

保護者の文化芸術活動の状況と子どもの文化芸術活動の状況の関係性について

※無回答 16 名と学齢不明の 29 名を除く

	活動している (全体)	活動していない (全体)	活動している (小学校 1 ～ 3 年生)	活動していない (小学校 1 ～ 3 年生)	活動している (小学校 4 ～ 6 年生)	活動していない (小学校 4 ～ 6 年生)	活動している (中学校 1 年生)	活動していない (中学校 1 年生)	活動している (中学校 2 年生)	活動していない (中学校 2 年生)	活動している (中学校 3 年生)	活動していない (中学校 3 年生)
保護者が活動している (N=373)	241	132	114	68	99	40	16	10	6	9	6	5
	64.6%	35.4%	62.6%	37.4%	71.2%	28.8%	61.5%	38.5%	40.0%	60.0%	54.5%	45.5%
保護者が活動していない (N=1525)	644	881	320	474	225	295	53	51	29	30	17	31
	42.2%	57.8%	40.3%	59.7%	43.3%	56.7%	51.0%	49.0%	49.2%	50.8%	35.4%	64.6%

計算例：活動している（全体）241÷保護者が活動している 373×100=64.6%

全体的に見ても、保護者が文化芸術活動をしていると、その子が文化芸術活動をしている割合が高くなり、逆に、保護者が文化芸術活動をしていないと、その子が文化芸術活動をしていない割合が高くなる。保護者の文化芸術活動状況が、子に及ぼす影響は十分に考えられる。

## 長岡京市文化芸術推進ビジョン策定懇話会設置要綱

### (目的)

第1条 長岡京市文化芸術推進ビジョン策定懇話会(以下「懇話会」という。)は、これからの長岡京市の文化芸術施策の方向性を示すビジョンを策定するにあたり、有識者等から広く意見を聴取することを目的とする。

### (所掌事項)

第2条 懇話会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) ビジョンの基本となる重要事項に関すること。
- (2) その他ビジョン策定に必要な事項に関すること。

### (構成等)

第3条 懇話会は、次に掲げる委員15人以内で構成する。

- (1) 文化芸術活動団体の関係者
  - (2) 芸術家又は文化芸術に関する企画等を行う者
  - (3) メディア関係者
  - (4) 学校関係者
  - (5) 関係行政機関の職員
  - (6) 公募の市民
  - (7) その他市長が必要と認める者
- 2 委員の任期は概ね2年以内とする。ただし、再任を妨げない。なお、委員に欠員が生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 懇話会に会長を置くことができ、委員の互選により決定する。
- 4 前項の会長に事故があるとき又は不在のときは、あらかじめ会長が指名する者が、その職務を代理する。

### (会議)

第4条 懇話会の会議は、文化政策主管課の長が招集し、進行する。

ただし、会長を置いたときは、会長が会議を進行する。

- 2 懇話会は、必要に応じて関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

### (その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関して必要な事項は、別に定める。

### 附 則

この要綱は、令和元年7月1日から施行する。

長岡京市文化芸術推進ビジョン策定懇話会

委員一覧（順不同）

役職等	氏名 (敬称略)
長岡京市文化協会 会長	芦田 富男
長岡京市公民館サークル連絡協議会 顧問	森 比佐
ピアニスト・声楽家	木本 雅子
長岡シティアンサンブル 事務局	矢是 浩士
学校教育指導主事・長岡中学校吹奏楽部顧問	田中 進
(公財)京都府長岡京記念文化事業団 事務局次長	山本 貴久
公募の市民	田畑 泉
公募の市民	平松 広行

オブザーバー

京都府山城広域振興局 企画総務部 企画振興室 地域アートマネージャー	谷 竜一
---------------------------------------	------